

甲賀市都市計画マスタープラン
アンケート調査報告書

平成 19 年 3 月

滋賀県甲賀市

甲賀市都市計画マスタープラン

アンケート調査報告書

平成 19 年 3 月

滋 賀 県 甲 賀 市

《 目 次 》

1. 調査の概要	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査の対象と方法	1
(3) 調査期間	1
(4) 回収状況	1
2. 市民アンケート調査	2
(1) 回答者の性別、年齢	2
(2) 回答者の職業	3
(3) 回答者の同居家族構成	3
(4) 回答者の居住地	5
(5) よく利用する場所	5
(6) 通院、会合、娯楽等の場所	12
(7) 甲賀市の良いところ	19
(8) 甲賀市の良くないところ	20
(9) 甲賀市の将来都市像	21
(10) 良いまちづくりの方策	21
(11) 中心地の役割分担	23
(12) 地区のイメージ	24
(13) 地区の良いまちづくりの方策	26
(14) 開発・建築の規制・誘導方策	29
(15) 建物用途の規制・誘導方策	31
(16) まちづくりへの参加方法	33
(17) 市民自由意見	34
3. 中学生アンケート調査	35
(1) 回答者の性別	35
(2) 通学している中学校	35
(3) よく利用する場所	36
(4) 甲賀市の良いところ	42
(5) 甲賀市の良くないところ	43
(6) 甲賀市の将来都市像	44
(7) 良い都市づくりの方策	45
(8) 地区のイメージ	46
(9) 地区の良いまちづくりの方策	47
(10) 中学生自由意見	51
4. アンケート調査結果の概要と 都市づくり・まちづくりへの指針	52
(1) 市民アンケート調査	52
(2) 中学生アンケート調査	59

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

本市の都市づくり・まちづくりの整備方針等を策定する際の基礎資料として、市民の都市づくりやまちづくりに関する意向等を把握するため市民へのアンケート調査を実施した。

(2) 調査の対象と方法

調査は、一般市民と将来を担う中学生を対象に行った。

市民アンケートの対象者は甲賀市に居住する18歳以上の市民から2,000人を無作為に抽出し、調査票の配布及び回収は郵送で行った。

中学生アンケートは、滋賀県立及び甲賀市立中学校7校の在校生から1,060人を選び、中学校を通じて調査票の配布、回収を行った。

(3) 調査期間

調査は平成18年3月8日から3月22日の間に行った。

(4) 回収状況

市民アンケートの回収状況は、配布数2,000票に対して回収票が832票で、回収率は41.6%であった。

中学生アンケートの回収状況は、配布数1,060票に対して回収票が942票、うち白票が21票で、白票を除いた有効回収率は86.9%であった。

表1-1 アンケート調査票数

区 分	市民アンケート	中学生アンケート
配布票数	2,000 票	1,060 票
回収票数	832 票	942 票
回収率	41.6%	88.9%
回収有効票	832 票	921 票
回収有効率	41.6%	86.9%
備 考	—	回収票のうち白票21票

2. 市民アンケート調査

(1) 回答者の性別、年齢

1) 回答者の性別【問1-1】

回答者の性別は「男性」が 635 票 (76.3%) で、「女性」が 82 票 (9.9%)、「無回答」が 115 票 (13.8%) である。

表 2-1 回答者の性別

区分	全 体	男性	女性	無回答
回答数(票)	832	635	82	115
比率(%)	100.0	76.3	9.9	13.8

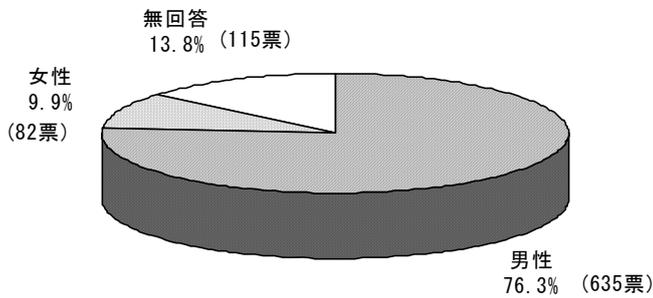


図 2-1 回答者の性別

2) 回答者の年齢【問1-2】

回答者の年齢は、「60～69 歳」が 176 票 (21.1%) と最も多く、次いで「70～79 歳」が 155 票 (18.6%)、以下「50～59 歳」が 133 票 (16.0%)、「40～49 歳」が 129 票 (15.5%) である。一方、「20～29 歳」が 59 票 (7.1%)、「30～39 歳」が 107 票 (12.9%) で、若年層は比較的少ない状況である。

表 2-2 回答者の年齢

区分	全 体	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	無回答
回答数(票)	832	12	59	107	129	133	176	155	53	8
比率(%)	100.0	1.4	7.1	12.9	15.5	16.0	21.1	18.6	6.4	1.0

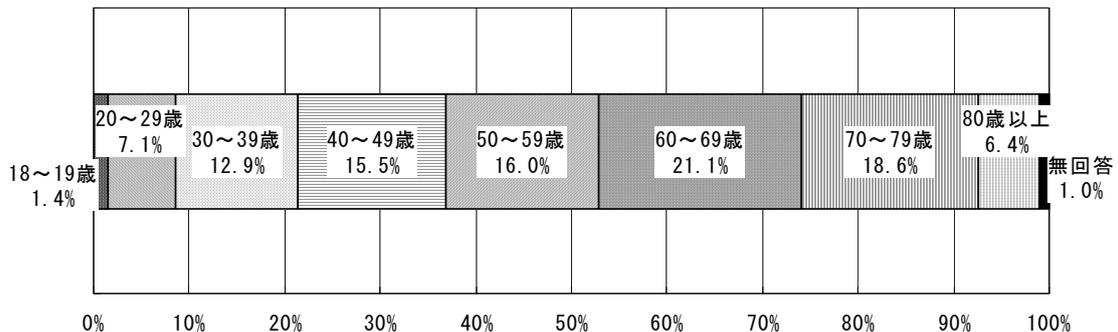


図 2-2 回答者の年齢

(2) 回答者の職業【問2】

回答者の職業は、「会社員・会社役員」が284票（34.2%）と最も多く、次いで「無職」が221票（26.6%）、以下「農業、漁業、林業」が65票（7.8%）、「商工業自営」が56票（6.7%）である。

表2-3 回答者の職業

区分	全体	商工業自営	農業、漁業、林業	会社員・会社役員	公務員	自由業	アルバイト、パート	家事、専業主婦	学生	無職	その他	無回答
回答数(票)	832	56	65	284	49	11	50	34	22	221	36	4
比率(%)	100.0	6.7	7.8	34.2	5.9	1.3	6.0	4.1	2.6	26.6	4.3	0.5

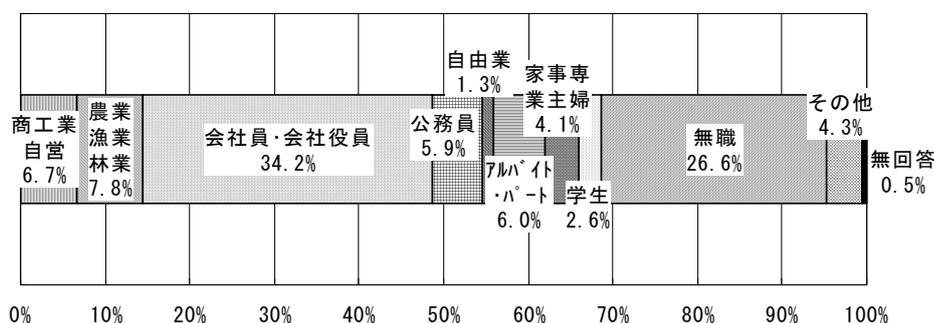


図2-3 回答者の職業

(3) 回答者の同居家族構成

1) 回答者の同居家族人員数【問3-1】

回答者832人の同居家族人員数は2,720人で、平均世帯人員は3.27人/世帯である。

表2-4 回答者の同居家族人員数

家族人員 世帯	全体	1人	2人	3人	4～5人	6～7人	8人以上	無回答
回答数(票)	832	73	179	188	227	108	5	52
比率(%)	100.0	8.8	21.5	22.6	27.2	13.0	0.6	6.3

2) 高校生以下の同居家族について【問3-2】

回答者と同居する高校生以下の人員数は、「いない」が339票（40.7%）と多く、「2名」が112票（13.5%）、「1名」が105票（12.7%）で、高校生以下の人が1名～4名以上でいる回答者は265票（31.9%）である。「無回答」は228票（27.4%）である。

表2-5 高校生以下の同居家族の人員数

区分	全体					計	いない	無回答
		1名	2名	3名	4名以上			
回答数(票)	832	105	112	46	2	265	339	228
比率(%)	100.0	12.7	13.5	5.5	0.2	31.9	40.7	27.4

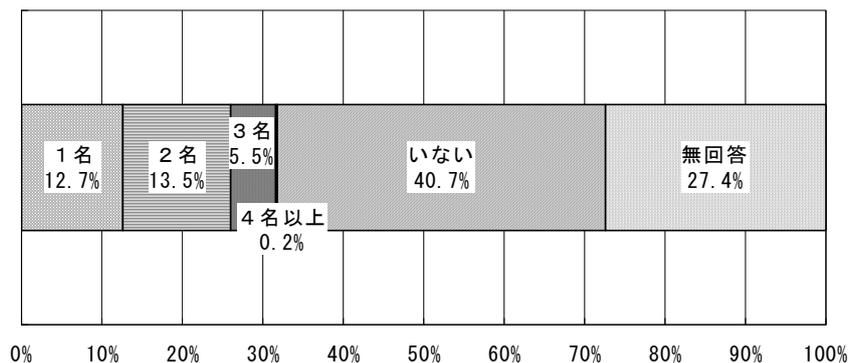


図 2 - 4 高校生以下の同居家族の人員数

3) 65 歳以上の同居家族について【問 3 - 3】

回答者と同居する 65 歳以上の人員数は、65 歳以上の人が 1 名～4 名以上でいる回答者は 460 票 (55.3%)、「いない」が 276 票 (33.2%) である。65 歳以上の人員数の内訳では「2 名」が 220 票 (26.5%)、「1 名」が 218 票 (26.2%) である。「無回答」は 96 票 (11.5%) である。

表 2 - 6 65 歳以上の同居家族の人員数

区分	全 体					計	いない	無回答
		1 名	2 名	3 名	4 名以上			
回答数(票)	832	218	220	15	7	460	276	96
比率 (%)	100.0	26.2	26.5	1.8	0.8	55.3	33.2	11.5

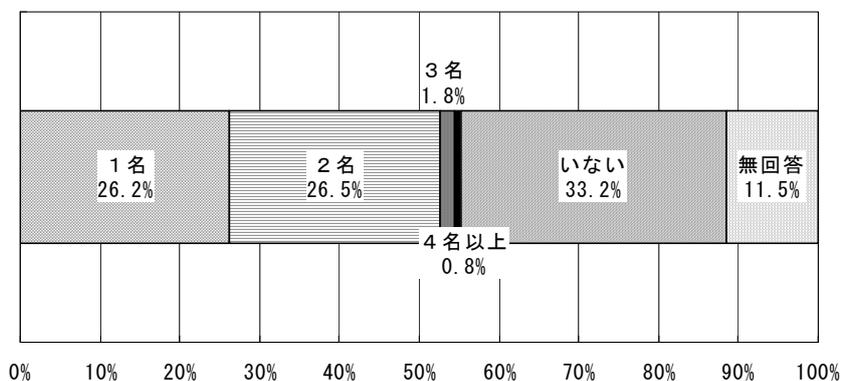


図 2 - 5 65 歳以上の同居家族の人員数

(4) 回答者の居住地【問4】

回答者の居住地は、「水口町」が 319 票 (38.3%) と最も多く、次いで「甲南町」が 183 票 (22.0%)、以下「信楽町」が 134 票 (16.1%)、「甲賀町」が 107 票 (12.9%)、「土山町」が 86 票 (10.3%) である。

表 2-7 回答者の居住地

区分	全 体	水口町	土山町	甲賀町	甲南町	信楽町	無回答
回答数(票)	832	319	86	107	183	134	3
比率(%)	100.0	38.3	10.3	12.9	22.0	16.1	0.4

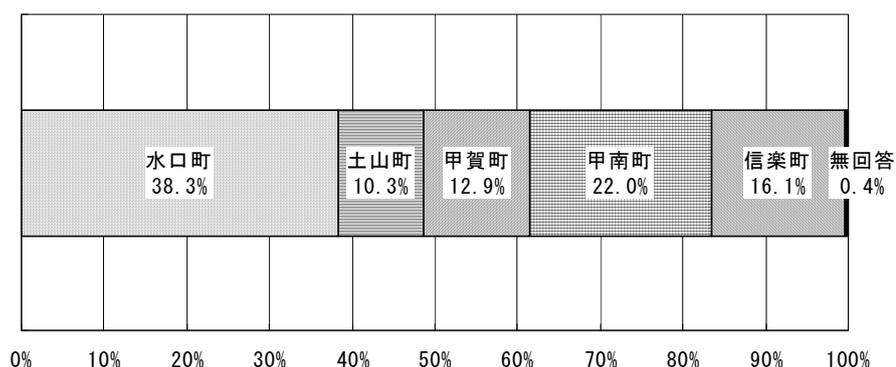


図 2-6 回答者の居住地

(5) よく利用する場所

1) 食料品・日用雑貨の買物場所【問5-1-1】

回答総数を 100% として食料品・日用雑貨の買物場所をみると、「水口町西友周辺大型店舗」が 493 票 (32.6%) と最も多く、次いで「水口町アルプラザ周辺大型店舗」が 408 票 (27.0%)、「旧町内大型店舗」が 265 票 (17.5%) となっている。以下「その他」が 134 票 (8.9%)、「近所の商店や移動販売車」が 97 票 (6.4%) と続く。

居住地別において、水口町では「水口町西友周辺大型店舗」が 35.3%、「水口町アルプラザ周辺大型店舗」が 33.8%、次いで「旧町内大型店舗」が 11.8%、「その他」が 7.8% と続く。

土山町、甲賀町も水口町とほぼ同傾向にある。甲南町と信楽町は、「水口町西友周辺大型店舗」が最も多いが、第 2 位が「旧町内大型店舗」、第 3 位が「水口町アルプラザ周辺大型店舗」となっている。

「水口町西友周辺大型店舗」と「水口町アルプラザ周辺大型店舗」を合算した比率は、水口町、土山町、甲賀町、甲南町の 4 町でおおむね 50~70% を占めている。一方、信楽町では、この 2 地点の比率は 42.1% に留まり、「近所の商店や移動販売車」が 11.4% と他町より高く、第 4 位になっている。

表 2-8 <居住地別>食料品・日用雑貨の買物場所（複数回答）

区分	水口町アルプラザ周辺大型店舗	水口町西友周辺大型店舗	旧町内大型店舗	近所の商店や移動販売車	栗東市中心街	草津市中心街	大津市中心街	京都市内	その他	無回答	合計
合計	408 27.0	493 32.6	265 17.5	97 6.4	4 0.3	33 2.2	10 0.7	17 1.1	134 8.9	50 3.3	1,511 100.0
水口町	200 33.8	209 35.3	70 11.8	25 4.2	1 0.2	14 2.4		9 1.5	46 7.8	18 3.0	592 100.0
土山町	48 31.2	46 29.9	26 16.9	11 7.1	1 0.6	2 1.3			14 9.1	6 3.9	154 100.0
甲賀町	43 23.0	57 30.5	38 20.3	15 8.0		2 1.1		1 0.5	22 11.8	9 4.8	187 100.0
甲南町	75 23.0	116 35.5	77 23.6	17 5.2		5 1.5	4 1.2	3 0.9	25 7.6	5 1.5	327 100.0
信楽町	40 16.3	63 25.8	54 22.1	28 11.4	2 0.8	10 4.1	6 2.4	4 1.6	27 11.0	11 4.5	245 100.0
無回答	2 33.3	2 33.3		1 16.7						1 16.7	6 100.0

注) 回答総数を 100%としている。

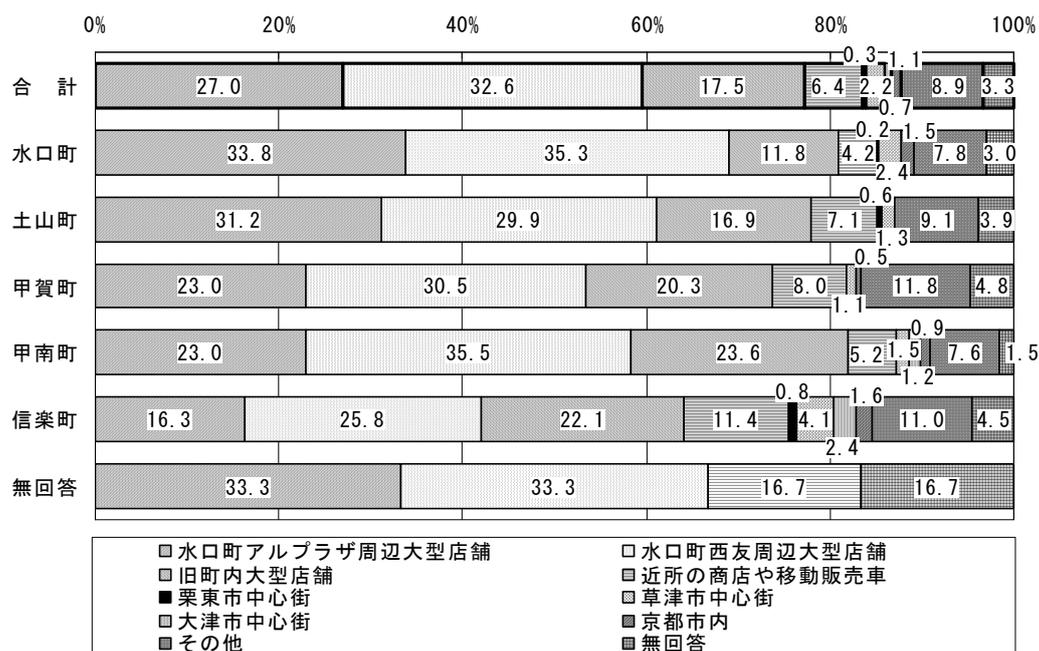


図 2-7 <居住地別>食料品・日用雑貨の買物場所（複数回答）

2) 食料品等の買物場所を選ぶ理由【問5-1-2】

回答総数を100%として食料品等の買物場所を選ぶ理由をみると、「何でもそろう」が451票(36.8%)と最も多く、次いで「値段が安い手ごろ」が323票(26.3%)、以下「交通の便がよい」が197票(16.1%)、「勤めからの帰り等」が106票(8.6%)と続く。

居住地別において、水口町では「何でもそろう」が38.9%と最も多く、次いで「値段が安い手ごろ」が27.2%で、以下「交通の便がよい」が17.1%、「勤めからの帰り等」が8.4%と続き、市平均と同じ傾向である。土山町、甲南町も同様の傾向にある。

また、甲賀町と信楽町は第1位から第3位までは同様の傾向であるが、第4位が「昔からのなじみ」、第5位が「勤めからの帰り等」で他の3町と異なっている。

表2-9 <居住地別>食料品等の買物場所を選ぶ理由(複数回答)

区分	何でもそろう	値段が安い手ごろ	昔からのなじみ	交通の便がよい	勤めからの帰り等	無回答	合計
合計	451 36.8	323 26.3	84 6.8	197 16.1	106 8.6	66 5.4	1,227 100.0
水口町	189 38.9	132 27.2	21 4.3	83 17.1	41 8.4	20 4.1	486 100.0
土山町	51 41.5	30 24.4	10 8.1	18 14.6	8 6.5	6 4.9	123 100.0
甲賀町	48 29.8	37 23.0	19 11.8	27 16.8	16 9.9	14 8.7	161 100.0
甲南町	90 34.4	77 29.4	16 6.1	41 15.6	26 9.9	12 4.6	262 100.0
信楽町	71 37.4	46 24.2	18 9.5	27 14.2	15 7.9	13 6.8	190 100.0
無回答	2 40.0	1 20.0		1 20.0		1 20.0	5 100.0

注) 回答総数を100%としている。

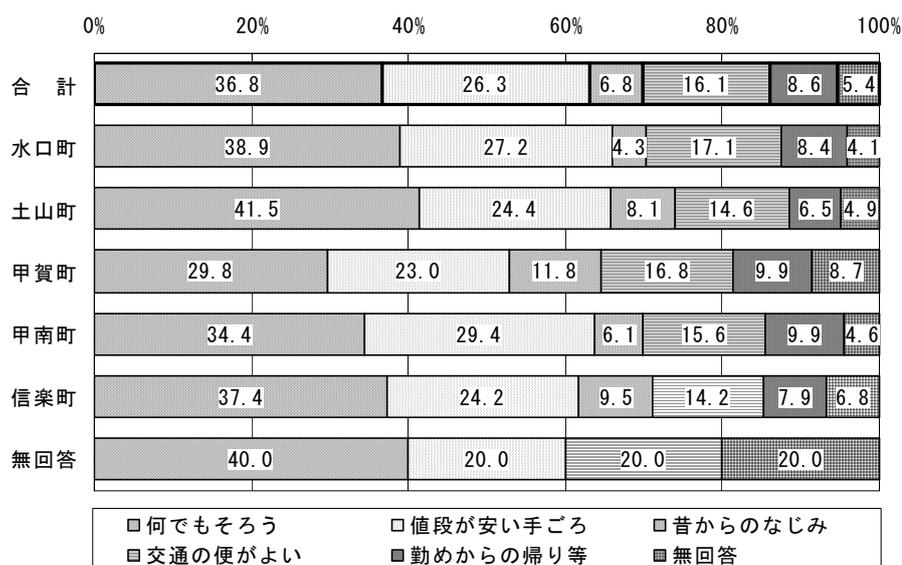


図2-8 <居住地別>食料品等の買物場所を選ぶ理由(複数回答)

3) 交通手段【問5-1-3】

回答総数を100%として食料品等の買物場所への交通手段をみると、「自動車」が677票(70.5%)と最も多く、約7割を占める。次いで「自転車」が106票(11.0%)、以下「無回答」が68票(7.1%)、「徒歩」が42票(4.4%)、「バス・鉄道」が35票(3.6%)である。

居住地別では、全町で「自動車」が第1位で、約68~75%と非常に高い。第2位も全町「自転車」である(約6~14%)。

「バス・鉄道」は、土山町、甲南町で市平均比率を上回っているが、水口町、甲賀町、信楽町では反対に市平均比率より低い。

表2-10 <居住地別>食料品等の買物場所への交通手段(複数回答)

区分	徒歩	自転車	オートバイ	自動車	バス・鉄道	その他	無回答	合計
合計	42 4.4	106 11.0	22 2.3	677 70.5	35 3.6	11 1.1	68 7.1	961 100.0
水口町	19 4.9	54 14.1	9 2.3	260 67.7	13 3.4	5 1.3	24 6.3	384 100.0
土山町	4 4.0	10 9.9	1 1.0	72 71.3	6 5.9	2 2.0	6 5.9	101 100.0
甲賀町	4 3.5	11 9.6	2 1.8	83 72.8	3 2.6	1 0.9	10 8.8	114 100.0
甲南町	8 3.7	21 9.9	5 2.3	153 71.5	12 5.6	3 1.4	12 5.6	214 100.0
信楽町	7 4.8	9 6.2	5 3.4	108 74.5	1 0.7		15 10.4	145 100.0
無回答		1 33.3		1 33.3			1 33.4	3 100.0

注) 回答総数を100%としている。

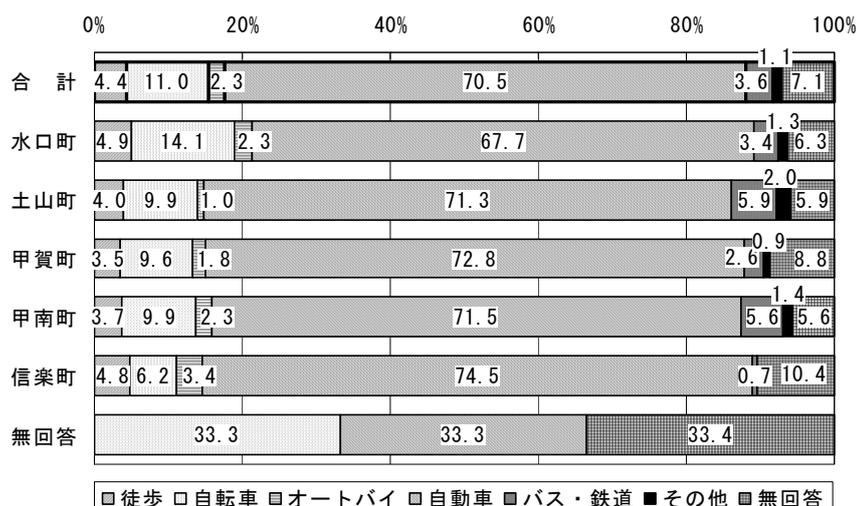


図2-9 <居住地別>食料品等の買物場所への交通手段(複数回答)

4) ファッション関係の買物場所【問5-2-1】

回答総数を100%としてファッション関係の買物場所をみると、「水口町アルプラザ周辺大型店舗」が430票(29.8%)と最も多く、次いで「水口町西友周辺大型店舗」が367票(25.4%)で、第3位が「京都市内」の142票(9.8%)となっている。以下「その他」が135票(9.4%)、「草津市中心街」が85票(5.9%)、「旧町内大型店舗」が83票(5.8%)と続く。

居住地別において、水口町では「水口町アルプラザ周辺大型店舗」が31.2%、次いで「水口町西友周辺大型店舗」が24.7%で、第3位が「京都市内」の11.1%、第4位が「その他」の8.1%である。他町も水口町とほぼ同傾向にあり、市平均と同じ傾向である。

「水口町アルプラザ周辺大型店舗」と「水口町西友周辺大型店舗」の合計比率は、水口町、土山町、甲賀町、甲南町の町ではおおむね54~66%であるが、信楽町では48%に留まり、第3位の「その他」が13.0%、第4位の「京都市内」が9.8%となっている。

表2-11 <居住地別>ファッション関係の買物場所(複数回答)

区分	水口町アルプラザ周辺大型店舗	水口町西友周辺大型店舗	旧町内大型店舗	近所の商店や移動販売車	栗東市中心街	草津市中心街	大津市中心街	京都市内	その他	無回答	合計
合計	430 29.8	367 25.4	83 5.8	34 2.4	10 0.7	85 5.9	63 4.4	142 9.8	135 9.4	92 6.4	1,441 100.0
水口町	174 31.2	138 24.7	37 6.6	14 2.5	2 0.4	30 5.4	23 4.1	62 11.1	45 8.1	33 5.9	558 100.0
土山町	60 40.6	38 25.7	6 4.1	3 2.0		3 2.0	7 4.7	9 6.1	11 7.4	11 7.4	148 100.0
甲賀町	49 27.7	46 26.0	4 2.3	4 2.3	1 0.6	11 6.2	5 2.8	20 11.3	21 11.8	16 9.0	177 100.0
甲南町	92 28.0	90 27.4	26 7.9	8 2.4	5 1.5	26 7.9	12 3.6	29 8.8	28 8.5	13 4.0	329 100.0
信楽町	53 23.8	53 23.8	10 4.5	5 2.2	2 0.9	15 6.7	16 7.2	22 9.8	29 13.0	18 8.1	223 100.0
無回答	2 33.3	2 33.3							1 16.7	1 16.7	6 100.0

注) 回答総数を100%としている。

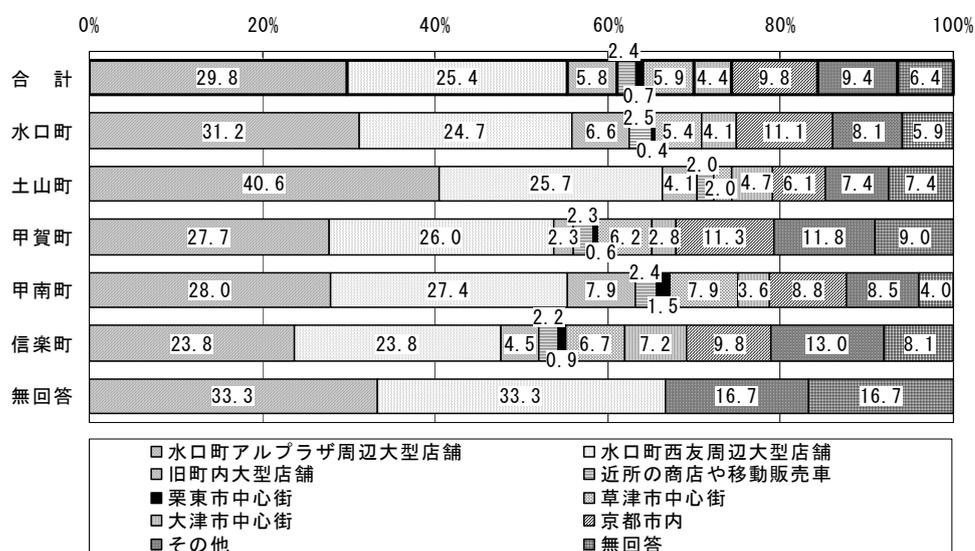


図2-10 <居住地別>ファッション関係の買物場所(複数回答)

5) ファッション関係の買物場所を選ぶ理由【問5-2-2】

回答総数を100%としてファッション関係買物場所を選ぶ理由をみると、「何でもそろう」が426票(38.5%)と最も多く、次いで「値段が安い手ごろ」が282票(25.5%)、以下「無回答」が155票(14.0%)、「交通の便がよい」が126票(11.4%)と続く。

居住地別では「何でもそろう」が全町で第1位で、「値段が安い手ごろ」が全町で第2位である。

全町の傾向は、全市の場合とほぼ同じである。

表2-12 <居住地別>ファッション関係の買物場所を選ぶ理由(複数回答)

区分	何でもそろう	値段が安い手ごろ	昔からのなじみ	交通の便がよい	勤めからの帰り等	無回答	合計
合計	426 38.5	282 25.5	65 5.9	126 11.4	52 4.7	155 14.0	1,106 100.0
水口町	155 36.1	109 25.3	21 4.9	58 13.5	26 6.0	61 14.2	430 100.0
土山町	52 44.9	31 26.7	3 2.6	13 11.2	4 3.4	13 11.2	116 100.0
甲賀町	57 39.4	35 24.1	11 7.6	15 10.3	6 4.1	21 14.5	145 100.0
甲南町	93 38.9	69 28.9	16 6.7	22 9.2	10 4.2	29 12.1	239 100.0
信楽町	68 39.5	37 21.5	13 7.6	18 10.5	6 3.5	30 17.4	172 100.0
無回答	1 25.0	1 25.0	1 25.0			1 25.0	4 100.0

注) 回答総数を100%としている。

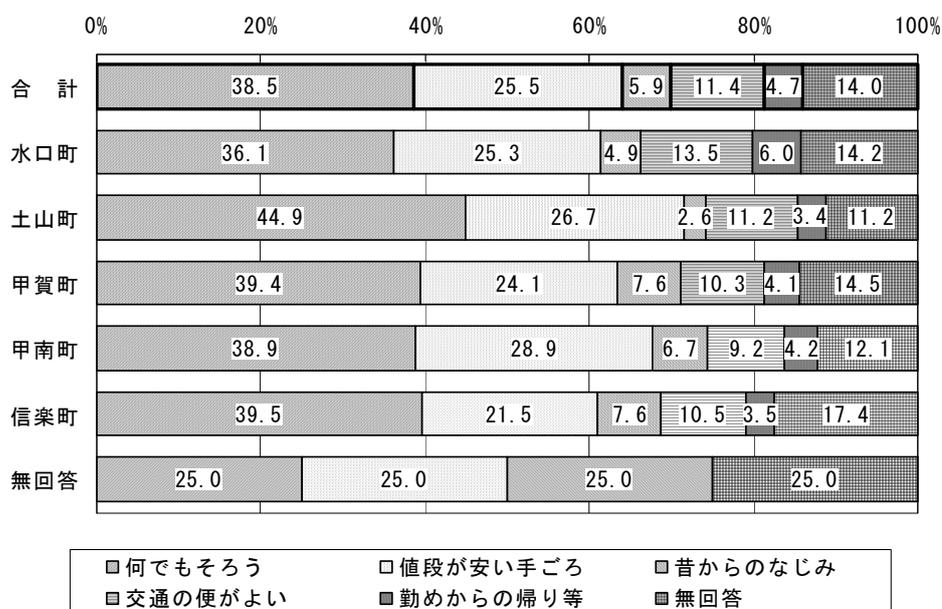


図2-11 <居住地別>ファッション関係の買物場所を選ぶ理由(複数回答)

6) ファッション関係の買物場所への交通手段【問5-2-3】

回答総数を100%としてファッション関係の買物場所への交通手段をみると、「自動車」が587票(61.6%)と最も多く、約6割を占める。次いで「無回答」が156票(16.4%)、以下「バス・鉄道」が104票(10.9%)、「自転車」が63票(6.6%)である。

居住地別では、全町で「自動車」が第1位で、約59~70%と非常に高い。第2位(「無回答を除く」)は全町「バス・鉄道」である(約4~15%)。

表2-13 <居住地別>ファッション関係の買物場所への交通手段(複数回答)

区分	徒歩	自転車	オートバイ	自動車	バス・鉄道	その他	無回答	合計
合計	24	63	15	587	104	4	156	953
	2.5	6.6	1.6	61.6	10.9	0.4	16.4	100.0
水口町	13	36	4	221	38	4	59	375
	3.5	9.6	1.1	58.9	10.1	1.1	15.7	100.0
土山町		4		61	11		20	96
		4.2		63.5	11.5		20.8	100.0
甲賀町	3	5	1	70	16		23	118
	2.5	4.2	0.8	59.4	13.6		19.5	100.0
甲南町	5	15	5	134	33		26	218
	2.3	6.9	2.3	61.5	15.1		11.9	100.0
信楽町	3	3	5	100	6		26	143
	2.1	2.1	3.5	69.9	4.2		18.2	100.0
無回答				1			2	3
				33.3			66.7	100.0

注) 回答総数を100%としている。

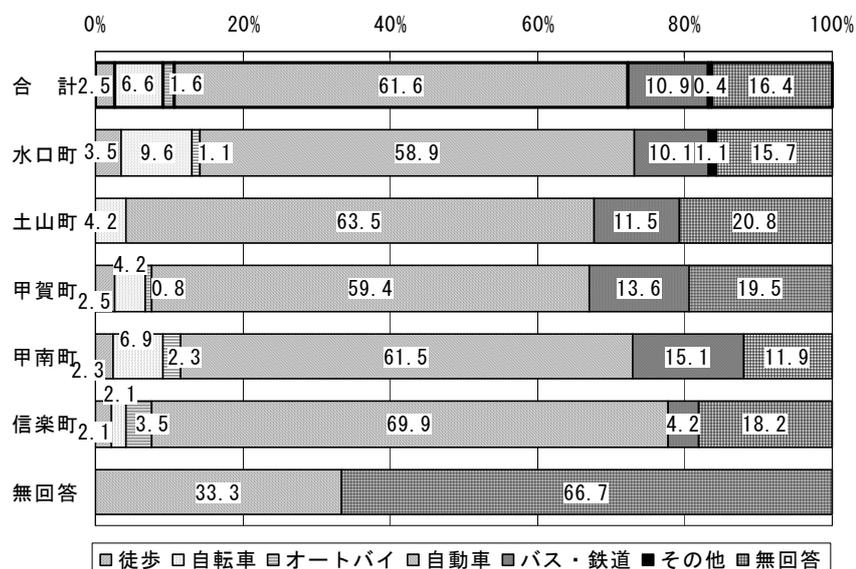


図2-12 <居住地別>ファッション関係の買物場所への交通手段(複数回答)

(6) 通院、会合、娯楽等の場所

1) 病院・診療所の場所【問6-1-1】

回答総数を100%として通院によく利用する場所をみると、「水口町の中心地や国道沿道」が413票(36.2%)と最も多く、次いで「自宅の近く」が320票(28.1%)、以下「甲南町中心地」が103票(9.0%)、「信楽町中心地」が82票(7.2%)、「草津市・大津市の中心地」59票(5.2%)と続く。

居住地別において、水口町では「水口町の中心地や国道沿道」が42.7%と最も高く、次いで「自宅の近く」が41.2%、「その他の市内」が4.2%、「草津市・大津市の中心地」が3.5%となっている。

土山町では「水口町の中心地や国道沿道」が42.9%と最も高く、次いで「自宅の近く」が27.2%、「土山町中心地」が13.2%で、第4位が「その他の市内」と「その他」が同数の5.0%である。

甲賀町では「水口町の中心地や国道沿道」(42.1%)、「甲南町中心地」(17.7%)、「自宅の近く」(10.7%)、「甲賀町中心地」(8.2%)の順になっている。

甲南町では「水口町の中心地や国道沿道」(32.5%)、「自宅の近く」(26.4%)、「甲南町中心地」(25.2%)、「草津市・大津市の中心地」(5.4%)の順になっている。

信楽町では第1位が「信楽町中心地」(43.4%)である。第2位以下は「水口町の中心地や国道沿道」(18.5%)、「自宅の近く」(16.9%)、「草津市・大津市の中心地」(11.1%)の順になっている。

信楽町以外では「水口町の中心地や国道沿道」がおおむね33~43%で第1位である。

表2-14 <居住地別>病院・診療所の場所(複数回答)

区分	自宅の 近く	水口町 の中心 地や国 道沿道	土山町 中心地	甲賀町 中心地	甲南町 中心地	信楽町 中心地	その他 の市内	草津 市・大 津市の 中心地	京都市 内	その他	無回答	合 計
合 計	320 28.1	413 36.2	21 1.8	17 1.5	103 9.0	82 7.2	43 3.8	59 5.2	17 1.5	39 3.4	26 2.3	1,140 100.0
水口町	167 41.2	173 42.7	2 0.5	1 0.2	6 1.5		17 4.2	14 3.5	5 1.2	10 2.5	10 2.5	405 100.0
土山町	33 27.2	52 42.9	16 13.2		2 1.7		6 5.0	2 1.7	1 0.8	6 5.0	3 2.5	121 100.0
甲賀町	17 10.7	67 42.1	3 1.9	13 8.2	28 17.7		5 3.1	8 5.0	4 2.5	7 4.4	7 4.4	159 100.0
甲南町	69 26.4	85 32.5		3 1.1	66 25.2		9 3.4	14 5.4	4 1.5	9 3.4	3 1.1	262 100.0
信楽町	32 16.9	35 18.5			1 0.5	82 43.4	6 3.2	21 11.1	3 1.6	7 3.7	2 1.1	189 100.0
無回答	2 50.0	1 25.0									1 25.0	4 100.0

注) 回答総数を100%としている。

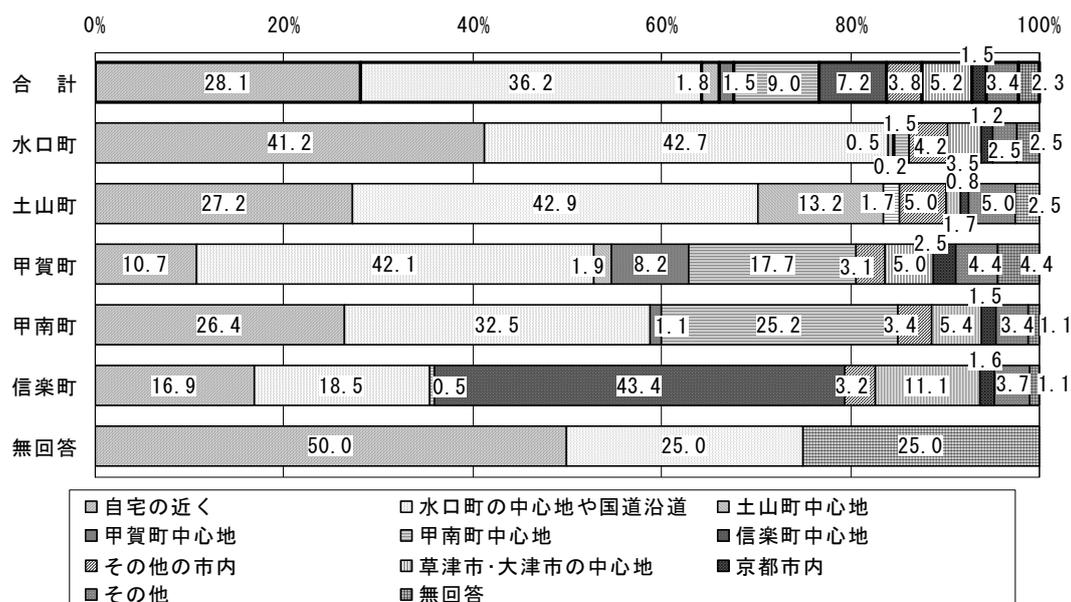


図 2-13 <居住地別>病院・診療所の場所 (複数回答)

2) 病院等への交通手段【問 6-1-2】

回答総数を 100%として通院によく利用する場所への交通手段をみると、「自動車」が 680 票 (71.3%) と最も多く、約 7 割を占める。次いで「自転車」が 92 票 (9.7%)、以下「徒歩」が 58 票 (6.1%)、「バス・鉄道」が 56 票 (5.9%) である。

居住地別では全町で「自動車」が第 1 位で、約 7~8 割と非常に高い。第 2 位を「自転車」としたのは、水口町、甲南町、信楽町の 3 町で (約 7~13%)、「バス・鉄道」としたのは、土山町、甲賀町の 2 町である (約 8~12%)。

表 2-15 <居住地別>病院等への交通手段 (複数回答)

区分	徒歩	自転車	オート バイ	自動車	バス・ 鉄道	その他	無回答	合計
合計	58	92	17	680	56	8	42	953
	6.1	9.7	1.8	71.3	5.9	0.8	4.4	100.0
水口町	25	48	4	256	18	4	17	372
	6.7	12.9	1.1	68.8	4.8	1.1	4.6	100.0
土山町	7	5	1	72	12		5	102
	6.9	4.9	1.0	70.5	11.8		4.9	100.0
甲賀町	7	9	3	85	10	1	8	123
	5.7	7.3	2.4	69.2	8.1	0.8	6.5	100.0
甲南町	10	18	5	151	10	2	8	204
	4.9	8.8	2.5	74.0	4.9	1.0	3.9	100.0
信楽町	9	11	4	115	6	1	3	149
	6.0	7.4	2.7	77.2	4.0	0.7	2.0	100.0
無回答		1		1			1	3
		33.3		33.3			33.4	100.0

注) 回答総数を 100%としている。

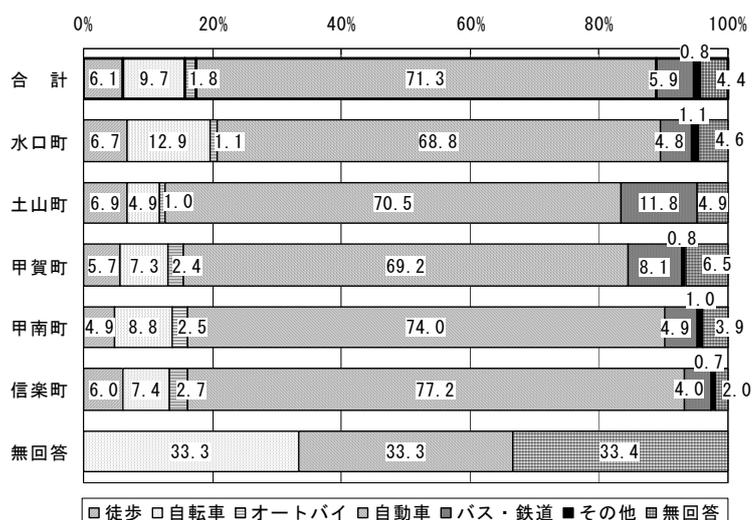


図 2-14 <居住地別>病院等への交通手段 (複数回答)

3) 友人との会合や飲食の場所【問 6-2-1】

回答総数を 100%として友人との会合や飲食によく利用する場所をみると、「水口町の中心地や国道沿道」が 398 票 (33.1%) と最も多く、次いで「自宅の近く」が 177 票 (14.7%)、以下「草津市・大津市の中心地」が 144 票 (12.0%)、「その他の市内」と「京都市内」が同数で 81 票 (6.8%) と続く。

居住地別において、水口町、土山町、甲賀町では第 1 位が「水口町の中心地や国道沿道」(約 27~43%) で、第 2 位が「(自宅の居住地の) 中心地」となっている(水口町は 1 位も 2 位も同じ意味)。「水口町の中心地や国道沿道」は 4 町で第 1 位で、おおむね 27~43%を占めている。

甲南町は、第 1 位が「水口町の中心地や国道沿道」(31.6%)、第 2 位が「草津市・大津市の中心地」(16.7%) で、第 3 位が「甲南町中心地」(12.6%) である。

信楽町は、第 1 位が「信楽町中心地」(31.7%) で、第 2 位が「水口町の中心地や国道沿道」(17.5%) である。

表 2-16 <居住地別>友人との会合や飲食の場所 (複数回答)

区分	自宅の近く	水口町の中心地や国道沿道	土山町中心地	甲賀町中心地	甲南町中心地	信楽町中心地	その他の市内	草津市・大津市の中心地	京都市内	その他	無回答	合計
合計	177	398	19	47	45	63	81	144	81	78	67	1,200
	14.7	33.1	1.6	3.9	3.8	5.3	6.8	12.0	6.8	6.5	5.5	100.0
水口町	85	177	1	3	3	2	43	45	29	26	21	435
	19.5	40.7	0.2	0.7	0.7	0.5	9.9	10.3	6.7	6.0	4.8	100.0
土山町	15	54	16	1			9	9	7	7	9	127
	11.8	42.5	12.6	0.8			7.1	7.1	5.5	5.5	7.1	100.0
甲賀町	19	48	2	39	7	1	5	22	9	13	11	176
	10.8	27.2	1.1	22.2	4.0	0.6	2.8	12.5	5.1	7.4	6.3	100.0
甲南町	30	85		4	34		18	45	21	18	14	269
	11.2	31.6		1.5	12.6		6.7	16.7	7.8	6.7	5.2	100.0
信楽町	27	33			1	60	6	23	15	14	10	189
	14.3	17.5			0.5	31.7	3.2	12.2	7.9	7.4	5.3	100.0
無回答	1	1									2	4
	25.0	25.0									50.0	100.0

注) 回答総数を 100%としている。

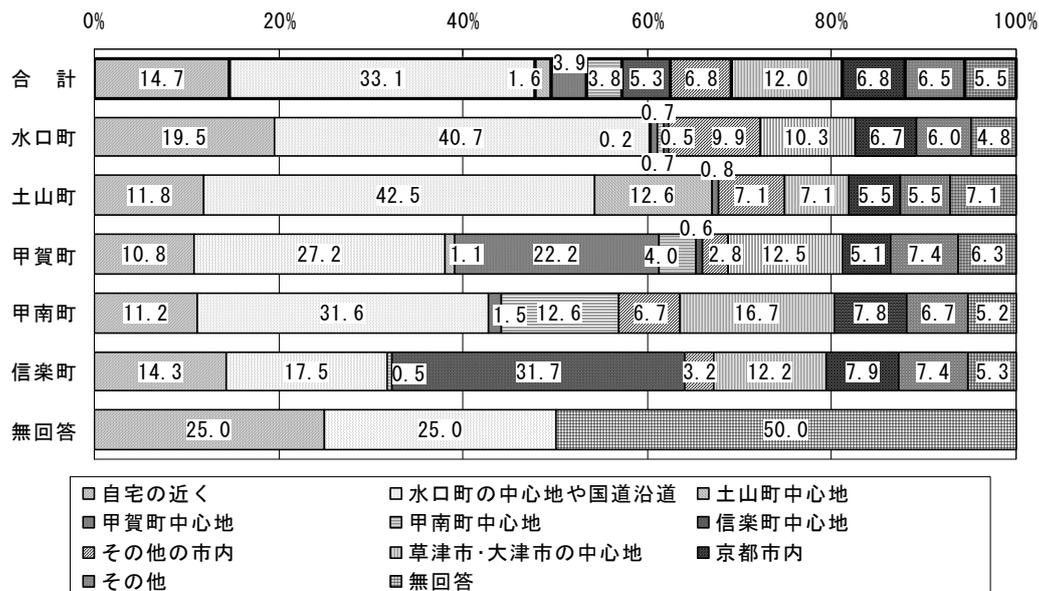


図 2-15 <居住地別> 友人との会合や飲食の場所 (複数回答)

4) 会合等の場所への交通手段【問6-2-2】

友人との会合や飲食の場所への交通手段は、「自動車」が 565 票 (57.1%) と最も多く、約 6 割を占める。次いで「バス・鉄道」が 130 票 (13.1%) で、以下「無回答」が 91 票 (9.2%)、「徒歩」が 90 票 (9.1%) と続く。

居住地別に回答総数を 100%として友人との会合や飲食の場所への交通手段をみると、全町で「自動車」が第 1 位で、約 6 割と高い。第 2 位も全町で「バス・鉄道」(約 9~15%) である。

表 2-17 <居住地別> 会合等の場所への交通手段 (複数回答)

区分	徒歩	自転車	オートバイ	自動車	バス・鉄道	その他	無回答	合計
合計	90	77	13	565	130	24	91	990
	9.1	7.8	1.3	57.1	13.1	2.4	9.2	100.0
水口町	42	43	3	206	50	14	30	388
	10.8	11.1	0.8	53.1	12.9	3.6	7.7	100.0
土山町	10	4		60	16	1	15	106
	9.4	3.8		56.6	15.1	0.9	14.2	100.0
甲賀町	7	11	2	79	18	1	13	131
	5.3	8.4	1.5	60.3	13.8	0.8	9.9	100.0
甲南町	18	12	4	123	32	4	18	211
	8.5	5.7	1.9	58.3	15.2	1.9	8.5	100.0
信楽町	13	7	4	96	14	4	13	151
	8.6	4.7	2.6	63.6	9.3	2.6	8.6	100.0
無回答				1			2	3
				33.3			66.7	100.0

注) 回答総数を 100%としている。

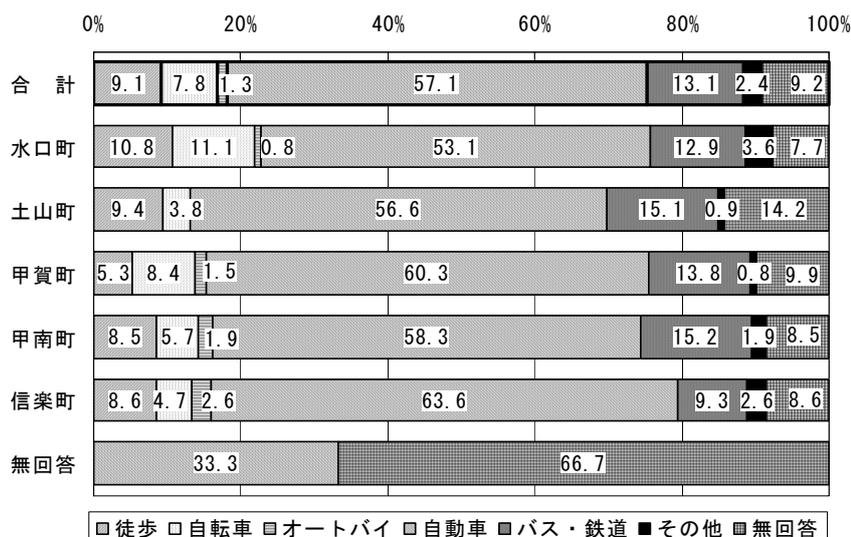


図2-16 <居住地別>会合等の場所への交通手段（複数回答）

5) 映画・パチンコ等の娯楽の場所【問6-3-1】

回答総数を100%として映画・パチンコ等の娯楽の場所をみると、「水口町の中心地や国道沿道」が428票（42.6%）と最も多く、約4割を占める。以下「無回答」が192票（19.1%）、「草津市・大津市の中心地」が86票（8.6%）、「自宅の近く」が78票（7.8%）、「その他」が74票（7.4%）と続く。

居住地別では（「無回答」は除く）、第1位は全町「水口町の中心地や国道沿道」である。

水口町では第1位が「水口町の中心地や国道沿道」（44.8%）、第2位が「自宅の近く」（15.1%）、第3位が「草津市・大津市の中心地」（7.5%）である。

土山町では「水口町の中心地や国道沿道」（42.3%）、「その他」（10.6%）、「自宅の近く」（6.7%）の順である。

甲賀町では「水口町の中心地や国道沿道」（39.5%）、「草津市・大津市の中心地」（10.2%）、「京都市内」（8.0%）の順である。

甲南町では「水口町の中心地や国道沿道」（47.2%）、「甲南町中心地」（9.0%）、「その他」（8.1%）の順である。

信楽町では「水口町の中心地や国道沿道」（35.2%）、「草津市・大津市の中心地」（16.4%）、「その他」（9.1%）の順である。

表 2-18 <居住地別>映画・パチンコ等の娯楽の場所（複数回答）

区分	自宅の近く	水口町の中心地や国道沿道	土山町中心地	甲賀町中心地	甲南町中心地	信楽町中心地	その他の市内	草津市・大津市の中心地	京都市内	その他	無回答	合計
合計	78	428	5	6	36	5	37	86	56	74	192	1,003
	7.8	42.6	0.5	0.6	3.6	0.5	3.7	8.6	5.6	7.4	19.1	100.0
水口町	58	172		1	3	1	12	29	24	23	61	384
	15.1	44.8		0.3	0.8	0.3	3.1	7.5	6.3	6.0	15.8	100.0
土山町	7	44	3	1	2	1	2	4	6	11	23	104
	6.7	42.3	2.9	1.0	1.9	1.0	1.9	3.8	5.8	10.6	22.1	100.0
甲賀町	4	54	1	3	10	1	4	14	11	8	27	137
	2.9	39.5	0.7	2.2	7.3	0.7	2.9	10.2	8.0	5.9	19.7	100.0
甲南町	5	99			19		11	12	8	17	39	210
	2.4	47.2			9.0		5.2	5.7	3.8	8.1	18.6	100.0
信楽町	4	58	1	1	2	2	8	27	7	15	40	165
	2.4	35.2	0.6	0.6	1.2	1.2	4.8	16.4	4.2	9.1	24.3	100.0
無回答		1									2	3
		33.3									66.7	100.0

注) 回答総数を 100%としている。

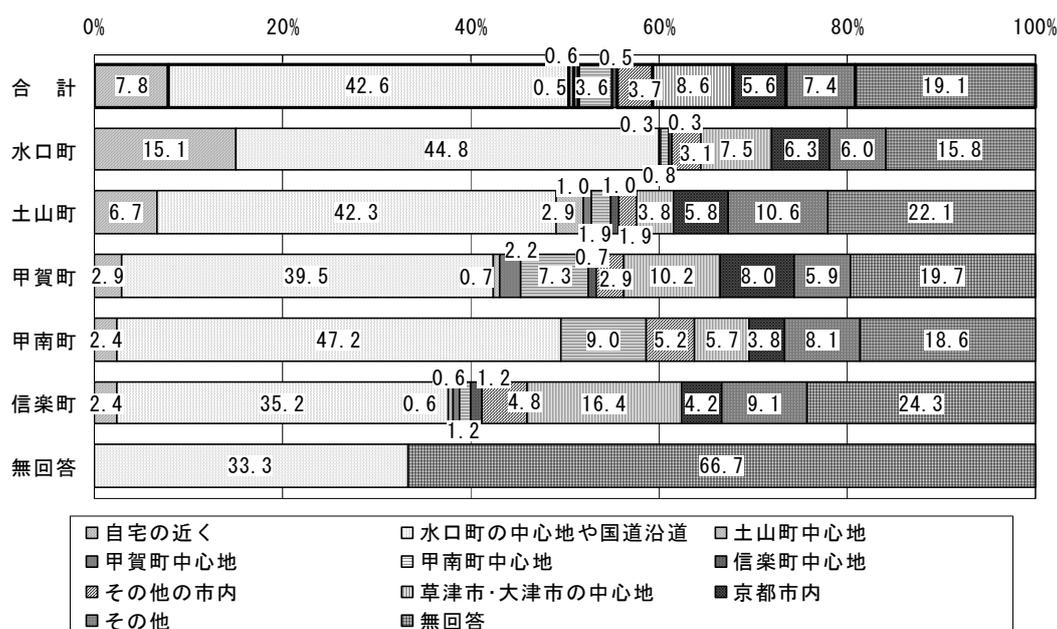


図 2-17 <居住地別>映画・パチンコ等の娯楽の場所（複数回答）

6) 娯楽の場所への交通手段【問6-3-2】

回答総数を100%として映画・パチンコ等の娯楽に利用する場所への交通手段をみると、「自動車」が517票(57.7%)と最も多く、約6割を占める。以下「無回答」が225票(25.1%)、「バス・鉄道」が70票(7.8%)、「自転車」が46票(5.1%)と続く。

居住地別では、全町で「自動車」が第1位で、約6割と高い。

第2位は、水口町を除く4町で「バス・鉄道」(約6~12%)である。水口町は「自転車」(8.1%)が第2位で、「バス・鉄道」(5.8%)が第3位である。

表2-19 <居住地別>娯楽の場所への交通手段(複数回答)

区分	徒歩	自転車	オートバイ	自動車	バス・鉄道	その他	無回答	合計
合計	18	46	6	517	70	14	225	896
	2.0	5.1	0.7	57.7	7.8	1.6	25.1	100.0
水口町	12	28	2	202	20	7	74	345
	3.5	8.1	0.6	58.6	5.8	2.0	21.4	100.0
土山町	2	1	1	53	10	2	25	94
	2.1	1.1	1.1	56.4	10.6	2.1	26.6	100.0
甲賀町	2	5		66	14		31	118
	1.7	4.2		55.9	11.9		26.3	100.0
甲南町	1	9	2	111	18	3	50	194
	0.5	4.7	1.0	57.2	9.3	1.5	25.8	100.0
信楽町	1	3	1	84	8	2	43	142
	0.7	2.1	0.7	59.2	5.6	1.4	30.3	100.0
無回答				1			2	3
				33.3			66.7	100.0

注) 回答総数を100%としている。

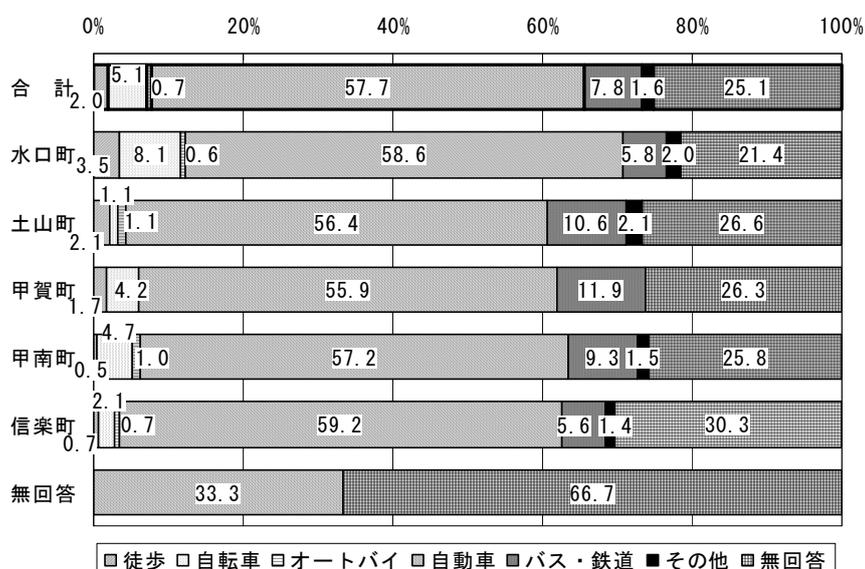


図2-18 <居住地別>娯楽の場所への交通手段(複数回答)

(7) 甲賀市の良いところ【問7】

甲賀市の良いところは、「緑豊かな山々」が 532 票 (63.9%)、「災害が少ない」が 524 票 (63.0%) と、どちらも6割を超える。次いで「空気がきれい」が 417 票 (50.1%)、「買物が便利」が 353 票(42.4%)となり、以下第5位～第7位は「景色や環境がよい」が 276 票(33.2%)、「下水道が整備されている」が 263 票 (31.6%)、「親族や知人が多く住む」が 260 票 (31.3%) と続く。甲賀市の良いところとされた上記の第7位までの中に、自然・歴史環境関係が4項目を占めている。

表2-20 甲賀市の良いところ（複数回答）

区分	回答者総数	〈自然・歴史環境関係〉						〈防犯・防災・救急関係〉		
		川がきれい	緑豊かな山々	空気がきれい	景色や環境がよい	伝統文化が豊か	親族や知人が多く住む	治安が良い	災害が少ない	救急体制が整っている
回答数(票)	832	136	532	417	276	182	260	223	524	133
比率(%)	—	16.3	63.9	50.1	33.2	21.9	31.3	26.8	63.0	16.0
区分	〈交通関係〉				〈生活環境関係〉					
	幹線道路が便利	生活道路が整備されている	バス交通が便利	鉄道が便利	買物が便利	住宅地が整備されている	下水道が整備されている	公園等が整備されている	学校が選びやすい	スポーツ施設が多い
回答数(票)	177	216	53	82	353	80	263	79	67	67
比率(%)	21.3	26.0	6.4	9.9	42.4	9.6	31.6	9.5	8.1	8.1
区分	〈生活環境関係〉			〈職場関係〉			無回答			
	文化施設が多い	病院等が多い	保育・福祉施設が多い	勤務地が近い	就職の機会が多い	通勤の交通が便利				
回答数(票)	137	152	62	201	19	46	32			
比率(%)	16.5	18.3	7.5	24.2	2.3	5.5	3.8			

注) 複数回答であることから、回答者総数を母数とする比率の合計は100%にならない場合がある。

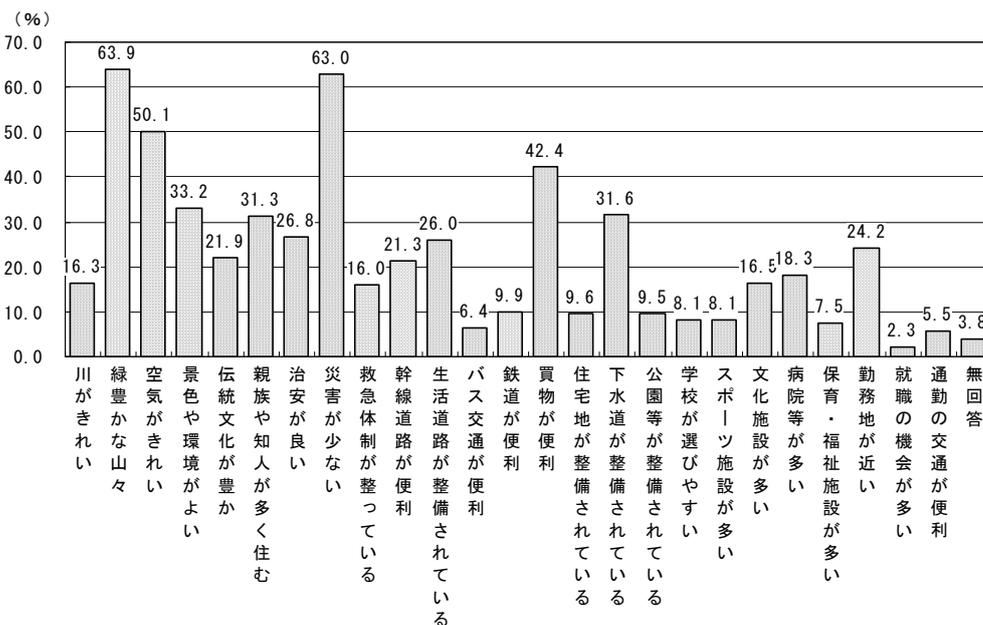


図2-19 甲賀市の良いところ（複数回答）

(8) 甲賀市の良くないところ【問8】

甲賀市の良くないところは、「鉄道が不便」が 454 票 (54.6%) と最も多く、次いで「バス交通が不便」が 364 票 (43.8%)、「幹線道路が不便」が 252 票 (30.3%) となり、上位を交通関係の項目が占めている。以下は「川が汚い」が 251 票 (30.2%)、「通勤の交通が不便」が 225 票 (27.0%)、「病院等が少ない」が 205 票 (24.6%)、「買物が不便」が 197 票 (23.7%)、「救急体制が不備」が 194 票 (23.3%) と続く。

表 2-21 甲賀市の良くないところ (複数回答)

区分	回答者総数	〈自然・歴史環境関係〉						〈防犯・防災・救急関係〉		
		川が汚い	緑が減った	空気が汚れてきた	景色や環境は悪くなった	伝統文化が失われていく	親族や知人が移転していく	治安が悪い	災害が多い	救急体制が不備
回答数(票)	832	251	101	77	144	94	57	129	10	194
比率(%)	—	30.2	12.1	9.3	17.3	11.3	6.9	15.5	1.2	23.3
区分	〈交通関係〉				〈生活環境関係〉					
	幹線道路が不便	自宅付近の道路が不備	バス交通が不便	鉄道が不便	買物が不便	住宅地が不備	下水道が不備	公園等が不備	学校が選びにくい	スポーツ施設が少ない
回答数(票)	252	180	364	454	197	77	177	175	127	176
比率(%)	30.3	21.6	43.8	54.6	23.7	9.3	21.3	21.0	15.3	21.2
区分	〈生活環境関係〉			〈職場関係〉			無回答			
	文化施設が少ない	病院等が少ない	保育・福祉施設が少ない	勤務地が近くに見当たらない	就職機会が少ない	通勤の交通が不便				
回答数(票)	66	205	124	137	167	225	45			
比率(%)	7.9	24.6	14.9	16.5	20.1	27.0	5.4			

注) 複数回答であることから、回答者総数を母数とする比率の合計は 100%にならない場合がある。

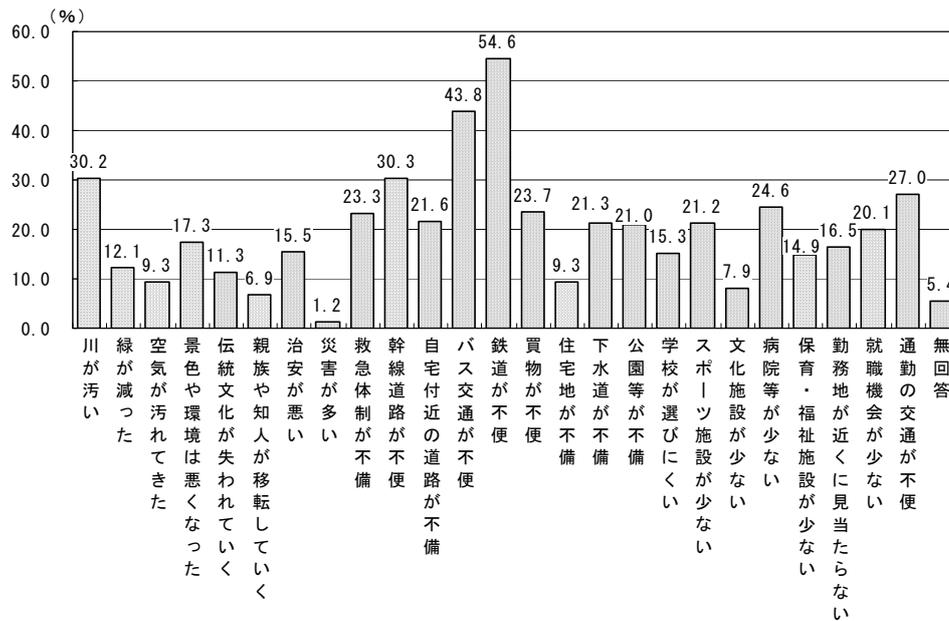


図 2-20 甲賀市の良くないところ (複数回答)

(9) 甲賀市の将来都市像【問9】

甲賀市のめざすべき将来都市像は、「保健・福祉が充実した都市」が 444 票（53.4%）と最も多く、次いで「自然豊かな都市」が 436 票（52.4%）で、以下「観光客が訪れる都市」が 295 票（35.5%）、「住宅を中心にした都市」が 286 票（34.4%）と続く。

表 2-22 甲賀市の将来都市像（複数回答）

区分	回答者総数	自然豊かな都市	田園環境に恵まれた都市	住宅を中心にした都市	保健・福祉が充実した都市	工業が発展した都市	高速道路を活かした産業が発展した都市	商業が発展した都市	観光客が訪れる都市	その他	無回答
回答数(票)	832	436	147	286	444	59	142	159	295	42	46
比率(%)	—	52.4	17.7	34.4	53.4	7.1	17.1	19.1	35.5	5.0	5.5

注) 複数回答であることから、回答者総数を母数とする比率の合計は 100%にならない場合がある。

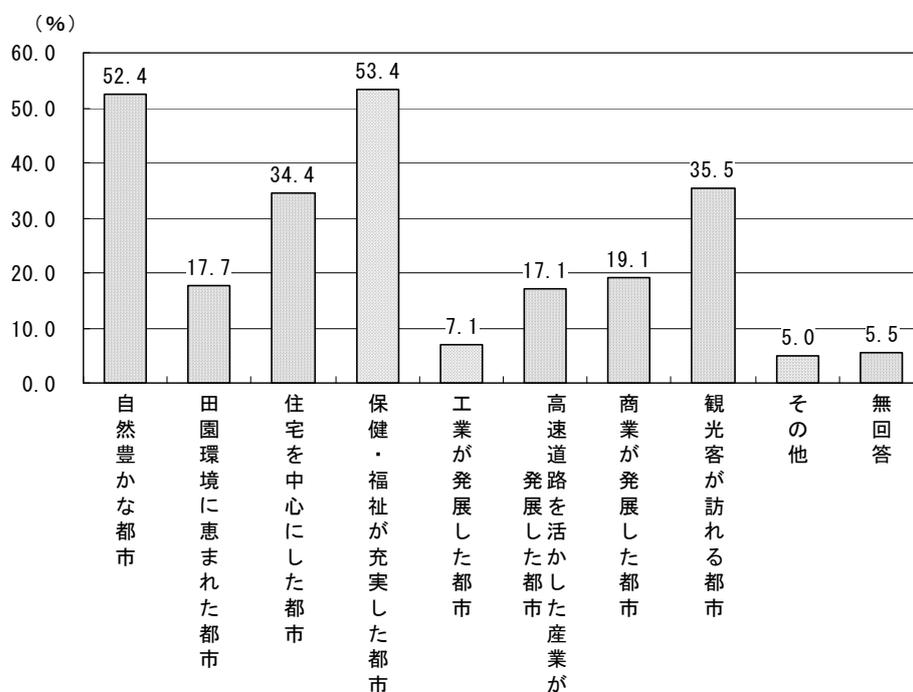


図 2-21 甲賀市の将来都市像（複数回答）

(10) 良い都市づくりの方策【問10】

良い都市づくりの方策は、「医療施設の整備」が 272 票（32.7%）と最も多く、次いで「川や水辺の保全」が 210 票（25.2%）で、以下僅差で「高齢者支援施設の充実」が 207 票（24.9%）、「防犯対策の充実」が 204 票（24.5%）、「生活道路の整備」が 190 票（22.8%）、「防災対策の充実」が 188 票（22.6%）、「各町の中心街の活性化」が 187 票（22.5%）、「伝統的な文化の保全、継承」が 176 票（21.2%）と続く。

生活関連施設などの方策が上位にあげられているが、同時に、防犯・防災や自然・歴史環境などの方策も重要と考えられている。

表2-23 良い都市づくりの方策（複数回答）

区分	回答者総数	〈自然・歴史環境などに関して〉				〈農業などに関して〉			〈防犯・防災などに関して〉			〈交通などに関して〉		
		川や水辺の保全	山等の緑の保全	空気が汚れないように規制	伝統的な文化の保全、継承	農地の保全	農業基盤の整備	農村環境の充実	防犯対策の充実	防災対策の充実	交通安全、消防の充実	幹線道路の整備	生活道路の整備	バス交通の充実
回答数(票)	832	210	175	145	176	76	67	130	204	188	96	130	190	161
比率(%)	—	25.2	21.0	17.4	21.2	9.1	8.1	15.6	24.5	22.6	11.5	15.6	22.8	19.4
区分	〈買物などに関して〉					〈就業・産業などに関して〉			〈住宅地などに関して〉					
	市の中心市街地の充実	各町の中心街の活性化	幹線道路沿道商業地の形成	工業団地等の工場誘致	インター周辺での業務地区の形成	市内への企業の誘致	観光産業の育成	既存工場の拡充の支援	現在の住宅地の再整備	新しい住宅地の建設	景観を美しくする			
回答数(票)	86	187	63	91	108	145	95	37	81	39	135			
比率(%)	10.3	22.5	7.6	10.9	13.0	17.4	11.4	4.4	9.7	4.7	16.2			
区分	〈生活関連施設などに関して〉										無回答			
	下水道の整備	公園等の整備	スポーツ施設の整備	教育施設の整備	文化施設の整備	医療施設の整備	保育施設の充実	高齢者支援施設の充実	保健・福祉施設の充実					
回答数(票)	117	66	65	59	55	272	73	207	154	46				
比率(%)	14.1	7.9	7.8	7.1	6.6	32.7	8.8	24.9	18.5	5.5				

注) 複数回答であることから、回答者総数を母数とする比率の合計は100%にならない場合がある。

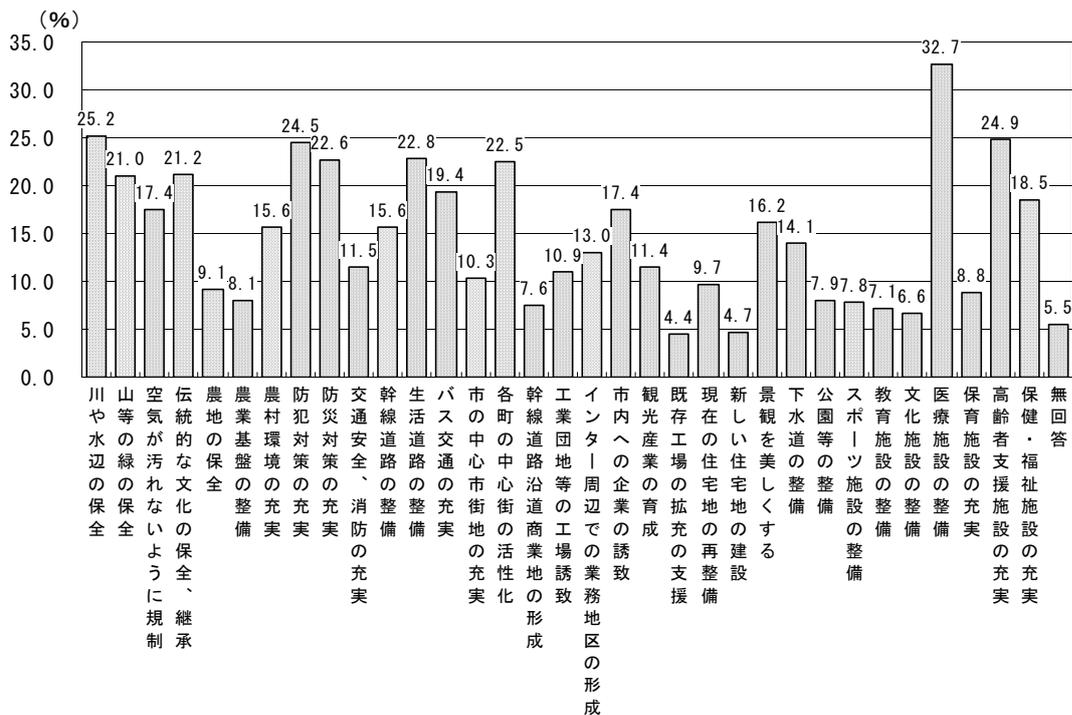


図2-22 良い都市づくりの方策（複数回答）

(11) 中心地の役割分担【問 11】

中心地の役割をどう考えるかについては、「旧 5 町の中心地はそれぞれ特性を生かして整備する」が 478 票 (57.5%) と最も多く、約 6 割を占める。次いで「1ヶ所の中心地で拠点づくりを進める」が 189 票 (22.7%)、「幹線道路沿道やインター付近に新しい中心地を形成する」が 119 票 (14.3%) となっている。

表 2-24 中心地の役割分担 (複数回答)

区分	回答者 総数	旧 5 町の中心 地はそれぞれ 特性を生かし て整備する	1ヶ所の中 心地で拠点 づくりを進 める	幹線道路沿道や インター付近に 新しい中心地を 形成する	その他	無回答
回答数(票)	832	478	189	119	45	113
比率(%)	—	57.5	22.7	14.3	5.4	13.6

注) 複数回答であることから、回答者総数を母数とする比率の合計は 100%にならない場合がある。

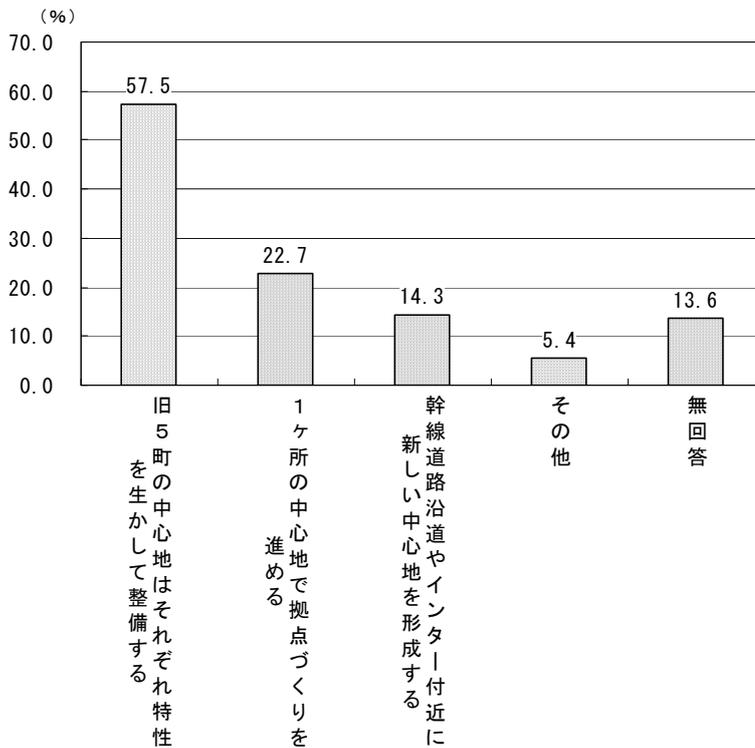


図 2-23 中心地の役割分担 (複数回答)

(12) 地区のイメージ【問 12】

地区（近所）のイメージは、「自然豊かな地区」が 416 票（50.0%）と最も多く、次いで「住宅を中心にした地区」が 381 票（45.8%）、「保健・福祉が充実した地区」が 379 票（45.6%）と並ぶ。

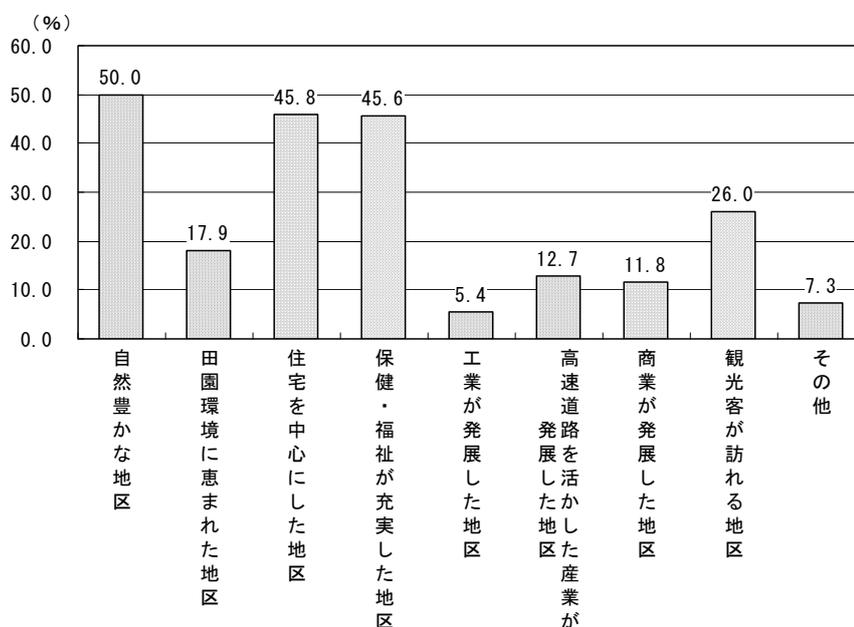


図 2-24 地区のイメージ（複数回答）

居住地別において、水口町では第 1 位が「住宅を中心にした地区」（56.1%）、第 2 位が「自然豊かな地区」（55.2%）、第 3 位が「保健・福祉が充実した地区」（47.3%）である。

土山町と甲賀町では第 1 位が「自然豊かな地区」（約 48～54%）、第 2 位が「保健・福祉が充実した地区」（約 40～47%）、第 3 位が「住宅を中心にした地区」（約 33～37%）である。この他、両町とも「観光客が訪れる地区」が約 3 割、「高速道路を活かした産業が発展した地区」が約 2～3 割ある。

甲南町では第 1 位が「住宅を中心にした地区」（51.4%）、第 2 位が「保健・福祉が充実した地区」（48.1%）、第 3 位が「自然豊かな地区」（43.2%）である。

信楽町では第 1 位が「観光客が訪れる地区」（57.5%）、第 2 位が「自然豊かな地区」（45.5%）、第 3 位が「保健・福祉が充実した地区」（41.8%）である。この他、「住宅を中心にした地区」が約 3 割ある。

表 2-25 <居住地別>地区のイメージ（複数回答）

区分	回答者総数	自然豊かな地区	田園環境に恵まれた地区	住宅を中心にした地区	保健・福祉が充実した地区	工業が発展した地区	高速道路を活かした産業が発展した地区	商業が発展した地区	観光客が訪れる地区	その他	無回答
合計	832	416	149	381	379	45	106	98	216	18	43
	—	50.0	17.9	45.8	45.6	5.4	12.7	11.8	26.0	2.2	5.2
水口町	319	176	62	179	151	12	10	50	56	10	11
	—	55.2	19.4	56.1	47.3	3.8	3.1	15.7	17.6	3.1	3.4
土山町	86	41	11	28	40	9	25	9	26	2	4
	—	47.7	12.8	32.6	46.5	10.5	29.1	10.5	30.2	2.3	4.7
甲賀町	107	58	24	40	43	9	22	8	30	2	5
	—	54.2	22.4	37.4	40.2	8.4	20.6	7.5	28.0	1.9	4.7
甲南町	183	79	36	94	88	6	23	14	27	2	15
	—	43.2	19.7	51.4	48.1	3.3	12.6	7.7	14.8	1.1	8.2
信楽町	134	61	16	38	56	9	26	17	77	2	7
	—	45.5	11.9	28.4	41.8	6.7	19.4	12.7	57.5	1.5	5.2

注) 複数回答であることから、回答者総数 832 票(地域無回答 3 票を含む)を母数とする比率の合計は 100%にならない場合がある。

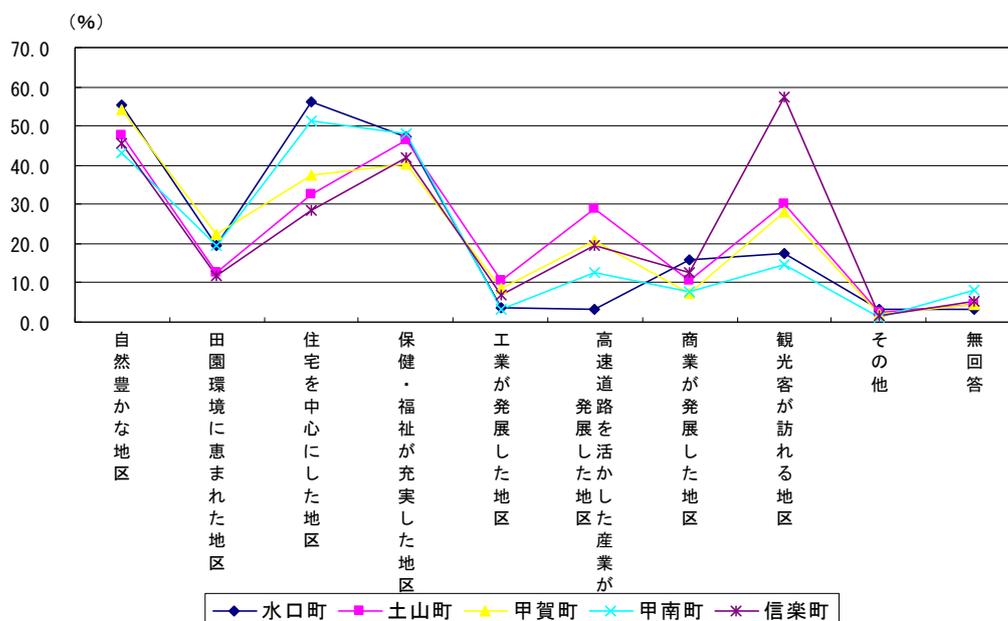


図 2-25 <居住地別>地区のイメージ（複数回答）

(13) 地区の良いまちづくりの方策【問 13】

地区（近所）において良いまちづくりの方策は、「医療施設の整備」が 232 票（27.9%）と最も多く、次いで「防犯対策の充実」が 227 票（27.3%）、以下「川や水辺の保全」が 217 票（26.1%）、「高齢者支援施設の充実」が 202 票（24.3%）、「生活道路の整備」が 189 票（22.7%）、「各町中心街の活性化」が 178 票（21.4%）、「防災対策の充実」が 174 票（20.9%）、「山等の緑の保全」が 173 票（20.8%）と続く。

生活関連施設などの方策が上位にあげられているが、同時に、防犯・防災や自然・歴史環境などの方策も重要と考えられている。

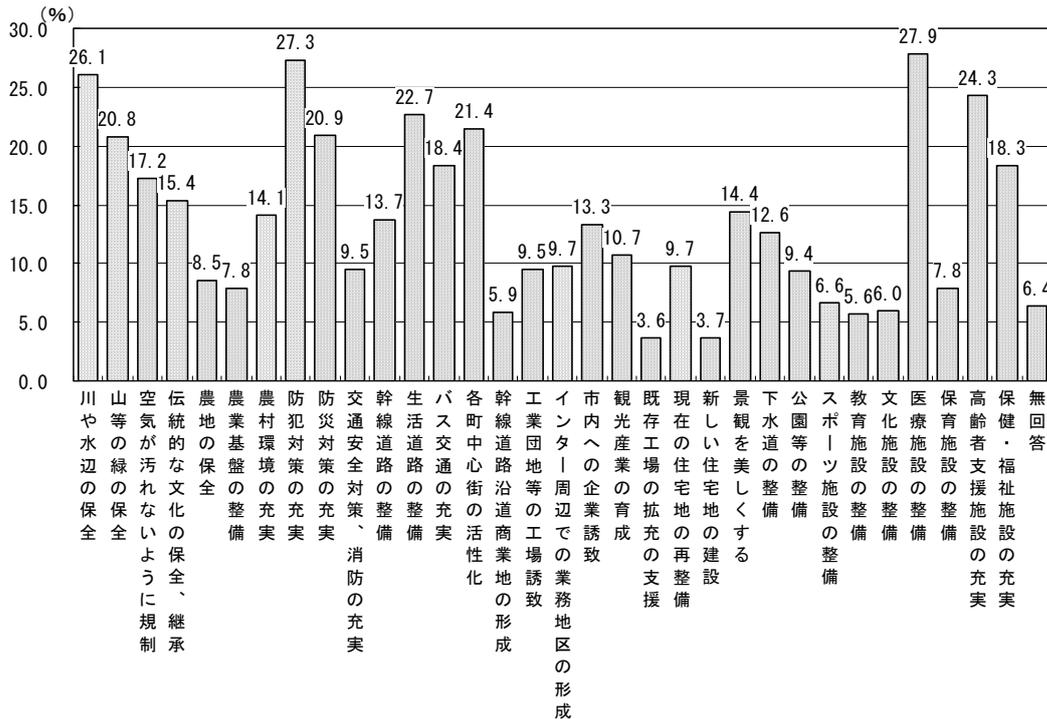


図 2-26 地区の良いまちづくりの方策（複数回答）

居住地別に地区の良いまちづくりの方策をみると、水口町と甲南町では第 1 位が「防犯対策の充実」（約 27～36%）、第 2 位が「医療施設の整備」（約 25～29%）、第 3 位が「川や水辺の保全」（約 24～27%）である。

土山町では第 1 位が「医療施設の整備」（37.2%）、第 2 位が「高齢者支援施設の充実」（30.2%）、第 3 位が「川や水辺の保全」（27.9%）である。

甲賀町では第 1 位が「医療施設の整備」（39.3%）、第 2 位が「高齢者支援施設の充実」（27.1%）、第 3 位が「各町中心街の活性化」（23.4%）である。

信楽町では第 1 位が「下水道の整備」（40.3%）、第 2 位が「生活道路の整備」（30.6%）、第 3 位が「川や水辺の保全」（29.9%）である。

表2-26 <居住地別>地区の良いまちづくりの方策（複数回答）

区分	回答者総数	川や水辺の保全	山等の緑の保全	空気が汚れないように規制	伝統的な文化の保全、継承	農地の保全	農業基盤の整備	農村環境の充実	防犯対策の充実	防災対策の充実	交通安全対策、消防の充実	幹線道路の整備	生活道路の整備	バス交通の充実	各町中心街の活性化	幹線道路沿道商業地の形成	工業団地等の誘致	インター周辺での業務地区の形成	市内への企業誘致	観光産業の育成	既存工場の充て	現在の住宅地の再整備	新しい住宅地の建設	景観を美しくする	下水道の整備	公園等の整備	スポーツ施設の整備	教育施設の整備	文化施設の整備	医療施設の整備	保育施設の整備	高齢者支援の充実	保健・福祉施設の充実	無回答
合計	832	217	173	143	128	71	65	117	227	174	79	114	189	153	178	49	79	81	111	89	30	81	31	120	105	78	55	47	50	232	65	202	152	53
	—	26.1	20.8	17.2	15.4	8.5	7.8	14.1	27.3	20.9	9.5	13.7	22.7	18.4	21.4	5.9	9.5	9.7	13.3	10.7	3.6	9.7	3.7	14.4	12.6	9.4	6.6	5.6	6.0	27.9	7.8	24.3	18.3	6.4
水口町	319	85	74	62	44	29	26	43	115	66	37	34	77	61	65	22	24	8	42	30	10	37	8	50	35	42	23	20	24	92	28	71	61	17
	—	26.6	23.2	19.4	13.8	9.1	8.2	13.5	36.1	20.7	11.6	10.7	24.1	19.1	20.4	6.9	7.5	2.5	13.2	9.4	3.1	11.6	2.5	15.7	11.0	13.2	7.2	6.3	7.5	28.8	8.8	22.3	19.1	5.3
土山町	86	24	16	10	13	11	8	12	16	14	8	13	14	21	21	8	10	16	14	9	2	8	7	9	3	2	3	7	3	32	6	26	17	4
	—	27.9	18.6	11.6	15.1	12.8	9.3	14.0	18.6	16.3	9.3	15.1	16.3	24.4	24.4	9.3	11.6	18.6	16.3	10.5	2.3	9.3	8.1	10.5	3.5	2.3	3.5	8.1	3.5	37.2	7.0	30.2	19.8	4.7
甲賀町	107	24	15	17	23	10	9	20	17	22	9	6	16	16	25	5	18	16	16	10	6	6	7	15	1	8	9	3	4	42	5	29	16	4
	—	22.4	14.0	15.9	21.5	9.3	8.4	18.7	15.9	20.6	8.4	5.6	15.0	15.0	23.4	4.7	16.8	15.0	15.0	9.3	5.6	5.6	6.5	14.0	0.9	7.5	8.4	2.8	3.7	39.3	4.7	27.1	15.0	3.7
甲南町	183	44	41	33	14	7	13	17	49	38	14	26	40	32	39	4	18	26	15	9	5	17	7	24	12	10	11	7	7	46	15	40	37	17
	—	24.0	22.4	18.0	7.7	3.8	7.1	9.3	26.8	20.8	7.7	14.2	21.9	17.5	21.3	2.2	9.8	14.2	8.2	4.9	2.7	9.3	3.8	13.1	6.6	5.5	6.0	3.8	3.8	25.1	8.2	21.9	20.2	9.3
信楽町	134	40	27	19	34	14	9	24	29	34	11	35	41	22	27	10	8	15	23	31	7	12	2	22	54	16	8	10	11	20	11	35	21	10
	—	29.9	20.1	14.2	25.4	10.4	6.7	17.9	21.6	25.4	8.2	26.1	30.6	16.4	20.1	7.5	6.0	11.2	17.2	23.1	5.2	9.0	1.5	16.4	40.3	11.9	6.0	7.5	8.2	14.9	8.2	26.1	15.7	7.5

注) 複数回答であることから、回答者総数 832 票(地域無回答 3 票を含む)を母数とする比率の合計は 100%にならない場合がある。

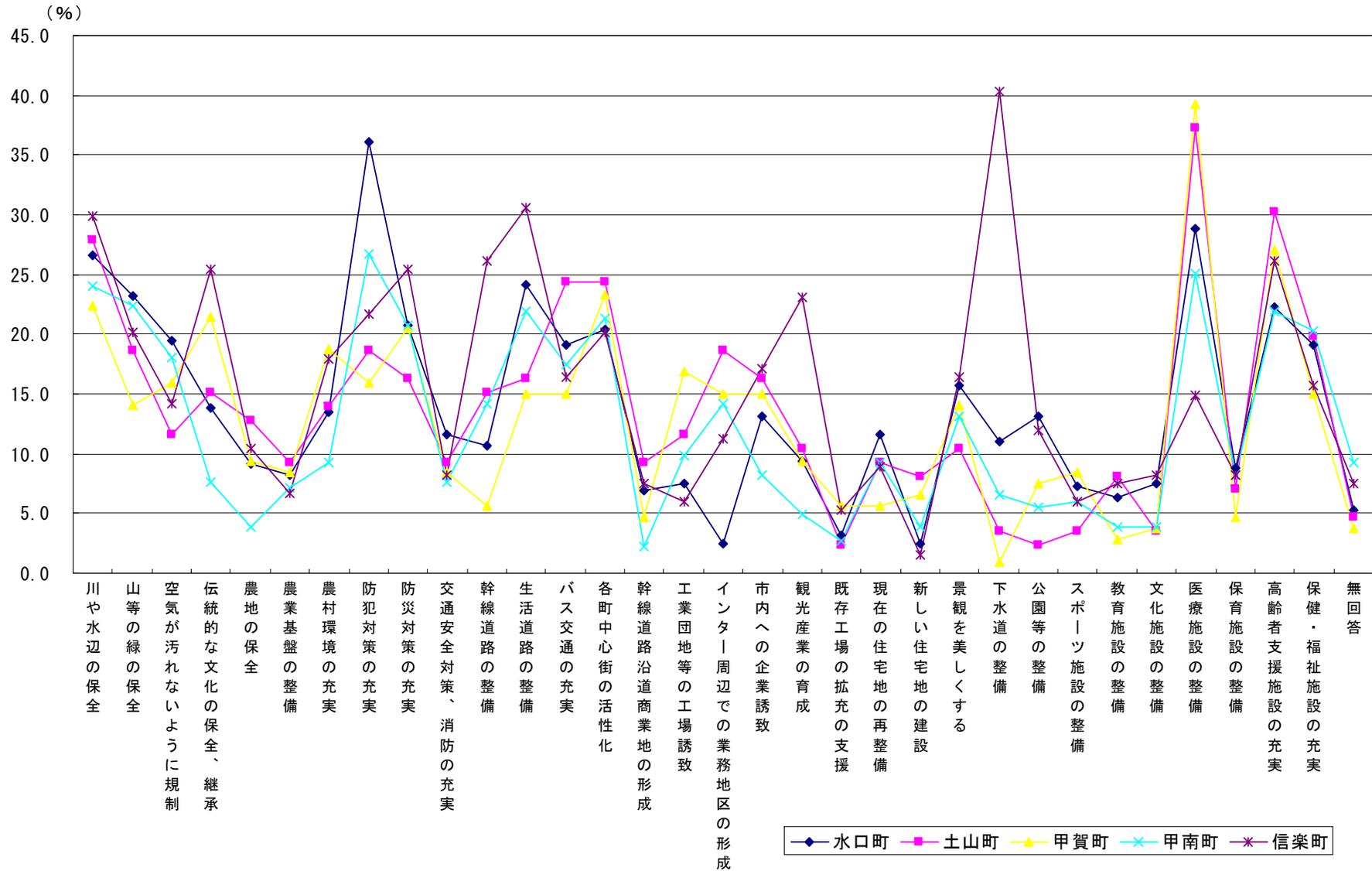


図2-27 <居住地別>地区の良いまちづくりの方策（複数回答）

(14) 開発・建築の規制・誘導方策【問 14】

甲賀市が行っている開発・建築の規制・誘導方策については、「わからない」が 298 票 (35.8%) と最も多く、次いで「農地や自然環境が保全されている」が 195 票 (23.4%)、以下「宅地開発等が適正に誘導されている」が 122 票 (14.7%)、「規制区域が小さく、環境が悪くなるおそれがある」が 118 票 (14.2%) と並ぶ。

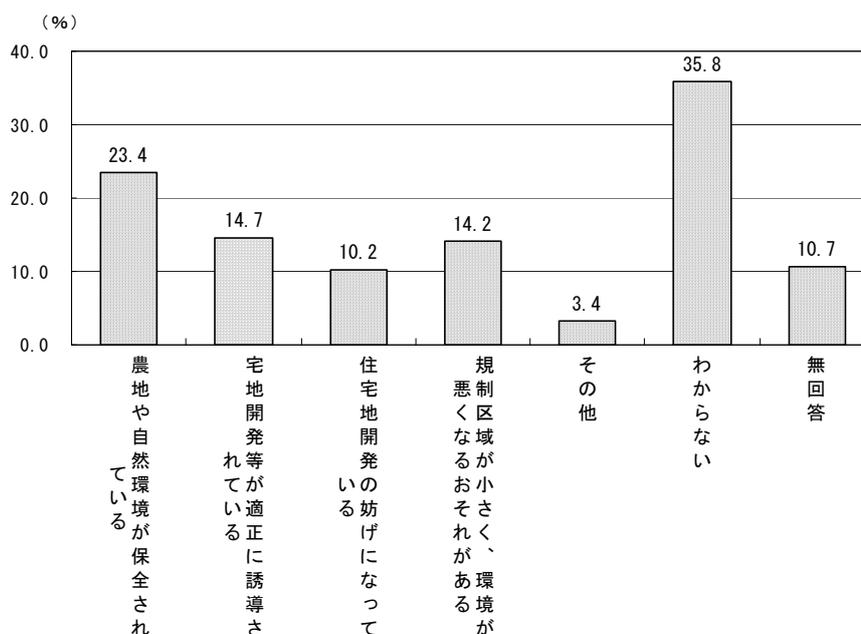


図 2-28 開発・建築の規制・誘導方策 (複数回答)

居住地別に関係・建築の規制・誘導方策をみると、全町で「わからない」が第 1 位を占めているものの、水口町と土山町では第 2 位が「農地や自然環境が保全されている」(約 24~27%)、第 3 位が「宅地開発等が適正に誘導されている」(約 16~18%) である。

甲賀町では第 2 位が「農地や自然環境が保全されている」(28.0%)、第 3 位が「住宅地開発の妨げになっている」(24.3%) である。

甲南町では第 2 位が「農地や自然環境が保全されている」(23.0%)、第 3 位が「規制区域が小さく、環境が悪くなるおそれがある」(15.3%) である。

信楽町では第 2 位が「規制区域が小さく、環境が悪くなるおそれがある」(18.7%)、第 3 位が「農地や自然環境が保全されている」(17.2%) である。

表 2-27 <居住地別>開発・建築の規制・誘導方策（複数回答）

区分	回答者総数	農地や自然環境が保全されている	宅地開発等が適正に誘導されている	住宅地開発の妨げになっている	規制区域が小さく、環境が悪くなるおそれがある	その他	わからない	無回答
合計	832	195	122	85	118	28	298	89
	—	23.4	14.7	10.2	14.2	3.4	35.8	10.7
水口町	319	76	57	27	52	11	117	21
	—	23.8	17.9	8.5	16.3	3.4	36.7	6.6
土山町	86	23	14	12	4	1	26	15
	—	26.7	16.3	14.0	4.7	1.2	30.2	17.4
甲賀町	107	30	14	26	9	2	31	13
	—	28.0	13.1	24.3	8.4	1.9	29.0	12.1
甲南町	183	42	26	15	28	8	64	17
	—	23.0	14.2	8.2	15.3	4.4	35.0	9.3
信楽町	134	23	10	5	25	6	60	21
	—	17.2	7.5	3.7	18.7	4.5	44.8	15.7

注) 複数回答であることから、回答者総数 832 票(地域無回答 3 票を含む)を母数とする比率の合計は 100%にならない場合がある。

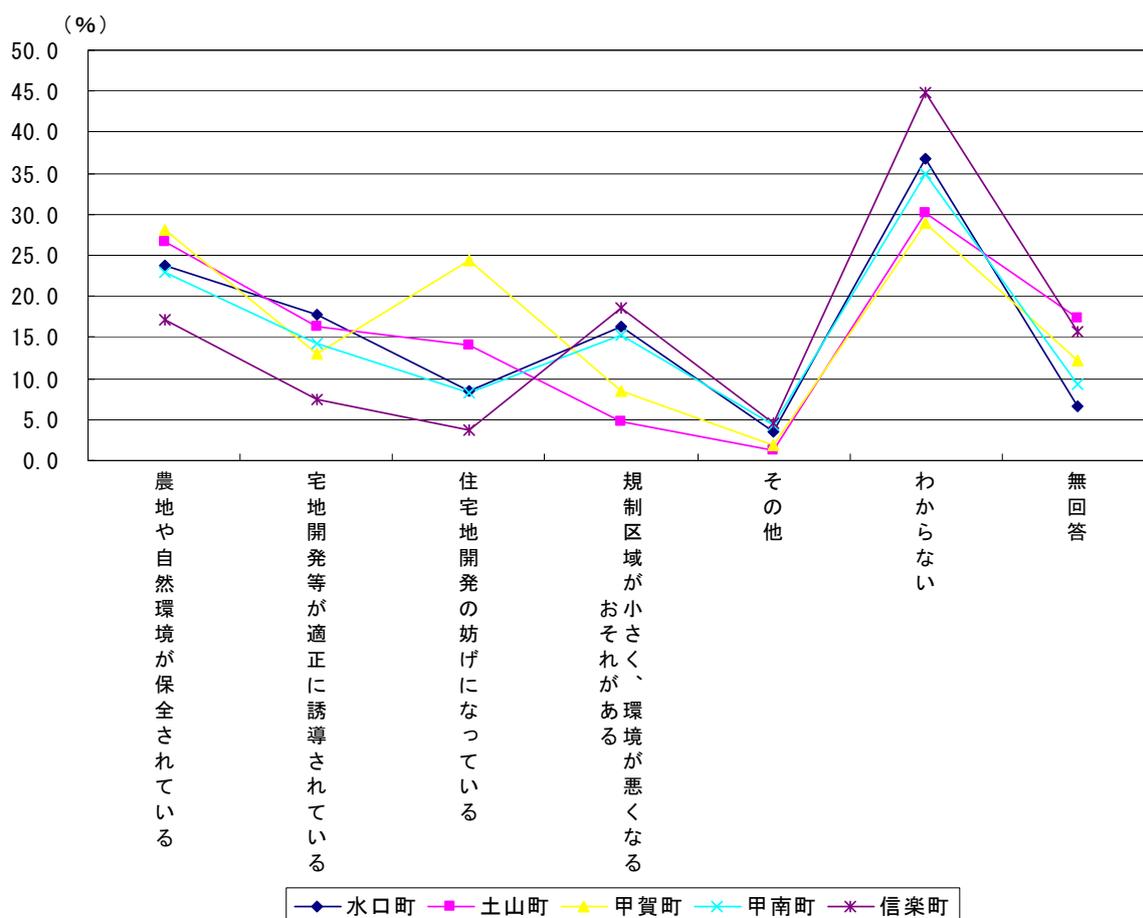


図 2-29 <居住地別>開発・建築の規制・誘導方策（複数回答）

(15) 建物用途の規制・誘導方策【問 15】

甲賀市市街地での建物用途の規制・誘導方策について、「わからない」が 269 票（32.3%）と最も多く、次いで「商業地が少なく、商店・事務所の建設が進んでいない」が 148 票（17.8%）、以下「住・商・工が適正に形成されている」が 138 票（16.6%）、「工場地が少なく、工場の新設や拡張が進んでいない」が 103 票（12.4%）である。

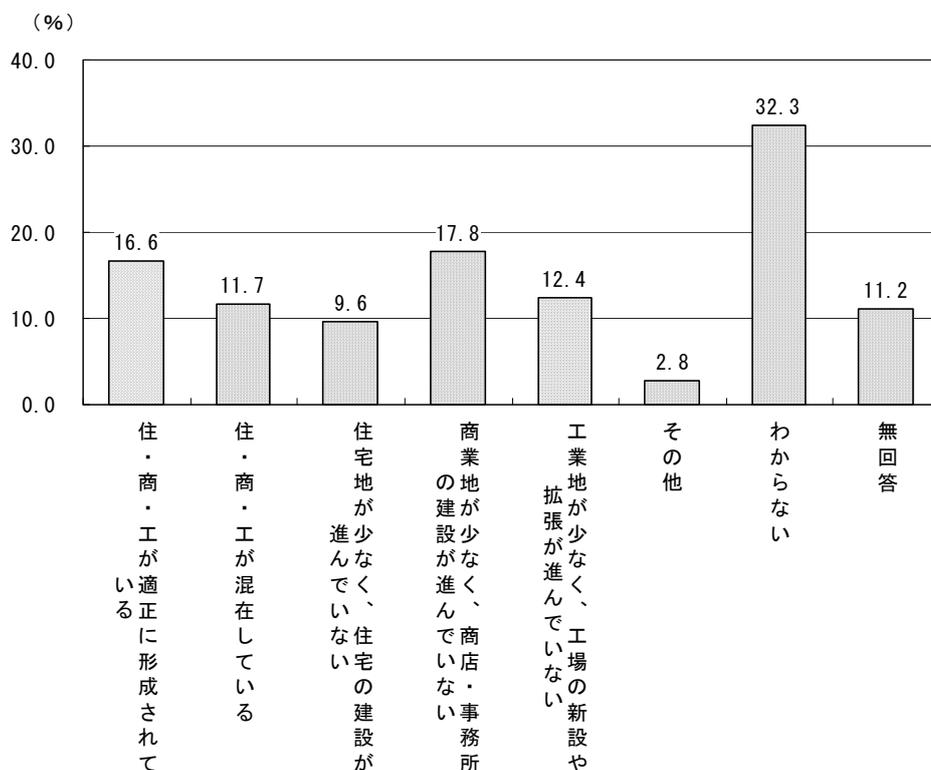


図 2-30 建物用途の規制・誘導方策（複数回答）

居住地別に建物用途の規制・誘導方策をみると、土山町以外の 4 町で「わからない」が第 1 位を占めているものの、水口町では第 2 位が「住・商・工が適正に形成されている」（20.7%）、第 3 位が「商業地が少なく、商店・事務所の建設が進んでいない」（18.5%）である。

土山町では第 1 位が「工場地が少なく、工場の新設や拡張が進んでいない」（27.9%）で、第 2 位が同数で、「商業地が少なく、商店・事務所の建設が進んでいない」と「わからない」（19.8%）となっている。

甲賀町と甲南町では第 2 位が「商業地が少なく、商店・事務所の建設が進んでいない」（約 19～22%）、第 3 位が「住・商・工が適正に形成されている」（約 15～19%）である。

信楽町では（「無回答」を除く）第 2 位が「住・商・工が混在している」（13.4%）、第 3 位が「工場地が少なく、工場の新設や拡張が進んでいない」（12.7%）である。

表 2-28 <居住地別>建物用途の規制・誘導方策（複数回答）

区分	回答者総数	住・商・工が適正に形成されている	住・商・工が混在している	住宅地が少なく、住宅の建設が進んでいない	商業地が少なく、商店・事務所の建設が進んでいない	工業地が少なく、工場の新設や拡張が進んでいない	その他	わからない	無回答
合計	832	138	97	80	148	103	23	269	93
	—	16.6	11.7	9.6	17.8	12.4	2.8	32.3	11.2
水口町	319	66	42	33	59	24	11	110	22
	—	20.7	13.2	10.3	18.5	7.5	3.4	34.5	6.9
土山町	86	13	5	13	17	24	2	17	14
	—	15.1	5.8	15.1	19.8	27.9	2.3	19.8	16.3
甲賀町	107	20	7	20	24	15	2	26	14
	—	18.7	6.5	18.7	22.4	14.0	1.9	24.3	13.1
甲南町	183	28	25	8	35	23	3	59	21
	—	15.3	13.7	4.4	19.1	12.6	1.6	32.2	11.5
信楽町	134	10	18	6	13	17	5	57	20
	—	7.5	13.4	4.5	9.7	12.7	3.7	42.5	14.9

注) 複数回答であることから、回答者総数 832 票 (地域無回答 3 票を含む) を母数とする比率の合計は 100%にならない場合がある。

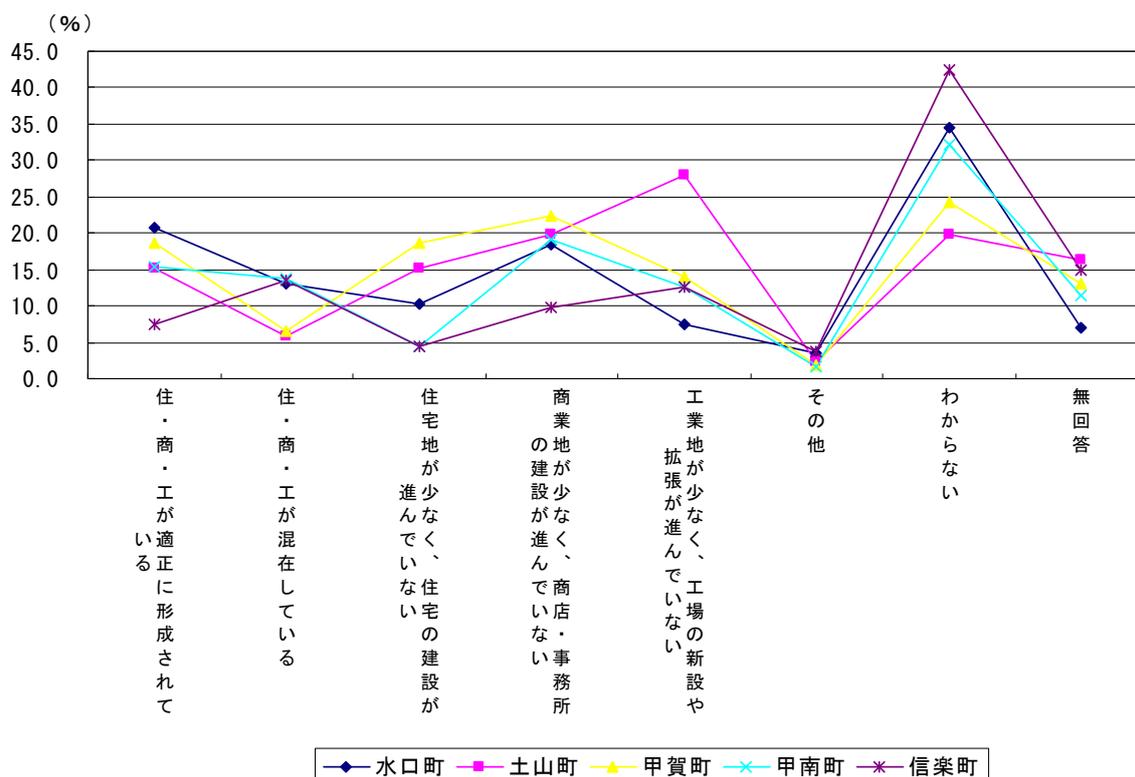


図 2-31 <居住地別>建物用途の規制・誘導方策（複数回答）

(16) まちづくりへの参加方法【問 16】

まちづくりへの市民の参加方法として良いと考える方法は、「市民が参加できる方法を企画し、行政が市民の意見を反映する」が 395 票 (47.5%) と最も多く、次いで「行政が計画し、市民の賛同を得て実現する」が 204 票 (24.5%)、「市民が主体となる制度等を創る」が 107 票 (12.9%) である。

表 2-29 まちづくりへの参加方法

区分	回答者 総数	市民が主 体となる 制度等を 創る	市民が参加で きる方法を企 画し、行政が 市民の意見を 反映する	行政が計 画し、市 民の賛同 を得て実 現する	行政が計 画し、関 係者の合 意を得て 実現する	その他	無回答
回答数(票)	832	107	395	204	20	7	99
比率(%)	100.0	12.9	47.5	24.5	2.4	0.8	11.9

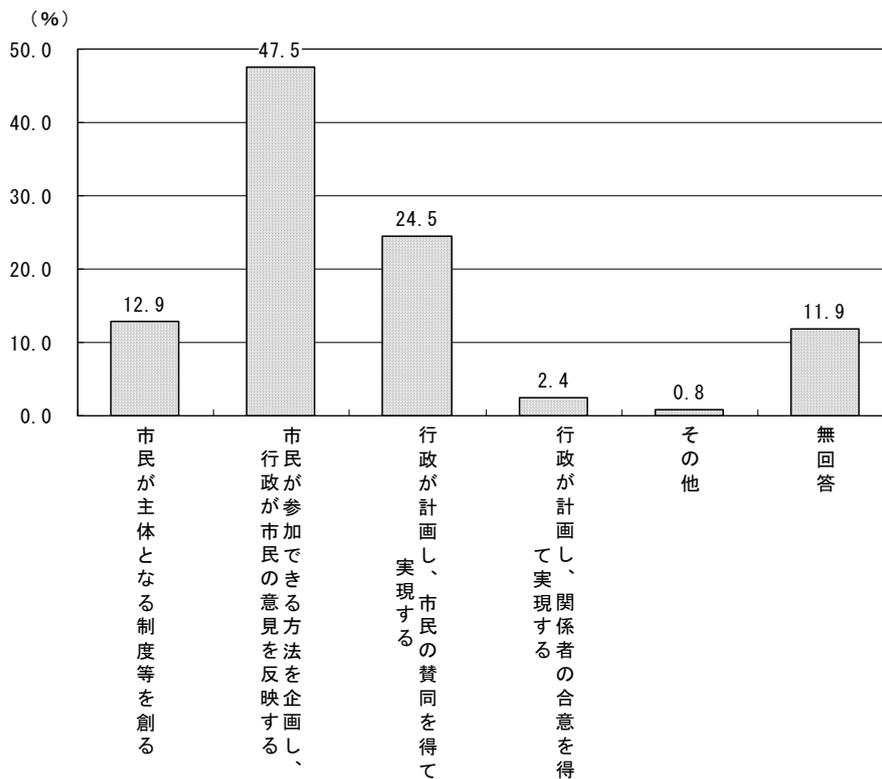


図 2-32 まちづくりへの参加方法

(17) 市民自由意見【問 17】

自由意見については、262名、約31%の方が292件の意見を記述されている。

記述内容については、まちづくりの方向性に関する意見が75件と最も多いが、内容は多様である。次いで、交通の充実、市への要望、都市核の形成に関する意見が多かった。主な意見を分類すると以下のとおりである。

■自由意見の分類と件数

◆まちづくりの方向性	75件		
○安全・安心な街	(12)	○高齢者の住みよい街	(12)
○子育てしやすい街	(10)	○若者が定着する街	(10)
○住み続けたい街	(8)	○その他	(23)
◆交通の充実	43件		
○道路整備	(22)	○交通網の整備	(21)
◆市への要望、要請	43件		
◆都市核の形成について	25件		
○旧町の特色を生かしたまちづくり	(16)		
○その他	(9)		
◆産業の振興	21件		
○地場産業、観光産業の充実	(8)	○活気ある街づくり	(8)
○その他	(5)		
◆住民主体のまちづくり方法	18件		
◆施設の建設	12件		
○病院をつくってほしい	(6)	○甲賀市発展のための施設建設等	(6)
◆自然保護	11件		
◆農村・山村の整備促進	9件		
○農地が減少する、荒れている	(7)	○その他	(2)
◆政策への要望	9件		
○教育に力を入れる	(5)	○その他	(4)
◆都市施設の整備	5件		
○下水道の整備	(4)	○その他	(1)
◆その他少数意見	21件		

3. 中学生アンケート調査

(1) 回答者の性別【問1】

回答者の性別は、「男性」が499票(54.2%)で、「女性」が422票(45.8%)とほぼ半数である。

表3-1 回答者の性別

区分	全 体	男性	女性
回答数(票)	921	499	422
比率(%)	100.0	54.2	45.8

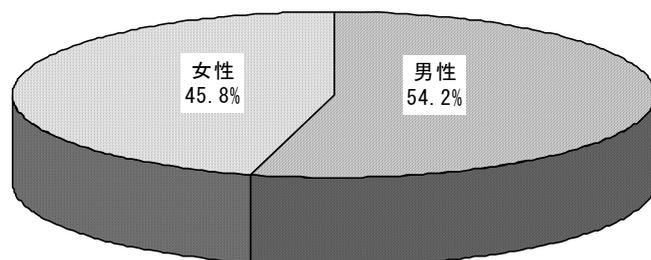


図3-1 回答者の性別

(2) 通学している中学校【問2】

回答者の通学している中学校は、「甲南」が209票(22.7%)、「水口」が192票(20.8%)、とそれぞれ約2割を占める。次いで「城山」が136票(14.8%)、「信楽」が124票(13.5%)、「甲賀」が112票(12.2%)、「土山」が98票(10.6%)とそれぞれ約1割を占める。「県立水口東」は50票(5.4%)で、同じ水口地区の「水口」、「城山」と合わせると378票(41.0%)となる。

表3-2 通学している中学校

区分	全 体	県立水口東	水口	城山	土山	甲賀	甲南	信楽
回答数(票)	921	50	192	136	98	112	209	124
比率(%)	100.0	5.4	20.8	14.8	10.6	12.2	22.7	13.5

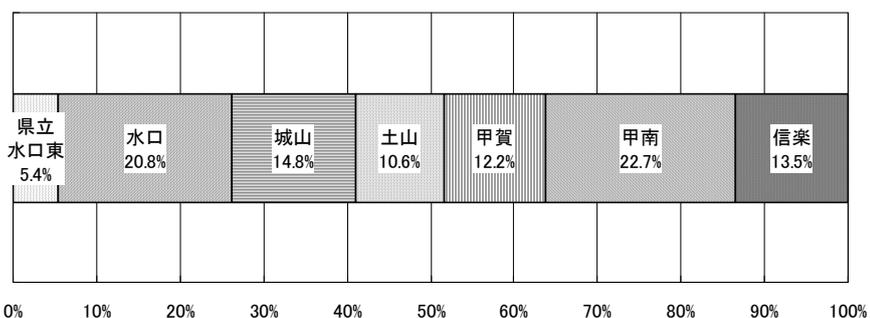


図3-2 通学している中学校

(3) よく利用する場所

1) ファッション関係の買物場所【問3-1-1】

回答総数を100%としてファッション関係の買物場所をみると、「甲賀市内の他の町」が438票(36.3%)と最も多いが、僅差で「甲賀市外」が433票(35.8%)と続く。次いで「中学校の町内」が253票(21.0%)となっている。

中学校別では、水口町にある県立水口東、水口、城山の3校は第1位が「中学校の町内」で比率は約4割～5割と高い。第2位が「甲賀市外」(約31～38%)である。

他校の4校は全体と同傾向で、第1位が「甲賀市内の他の町」で約5割と高く、第2位が「甲賀市外」(約3割～4割)である。

表3-3 <中学校別>ファッション関係の買物場所(複数回答)

区分	中学校の町内	甲賀市内の他の町	甲賀市外	その他	無回答	合計
合計	253	438	433	49	34	1,207
	21.0	36.3	35.8	4.1	2.8	100.0
県立水口東	30	5	23	1	1	60
	50.0	8.3	38.3	1.7	1.7	100.0
水口	127	41	91	9	3	271
	46.9	15.1	33.6	3.3	1.1	100.0
城山	67	45	58	10	5	185
	36.2	24.3	31.4	5.4	2.7	100.0
土山	2	65	50	8	3	128
	1.6	50.8	39.0	6.3	2.3	100.0
甲賀	2	65	56	5	5	133
	1.5	48.8	42.1	3.8	3.8	100.0
甲南	17	124	97	8	12	258
	6.6	48.0	37.6	3.1	4.7	100.0
信楽	8	93	58	8	5	172
	4.7	54.0	33.7	4.7	2.9	100.0

注) 回答総数を100%としている。

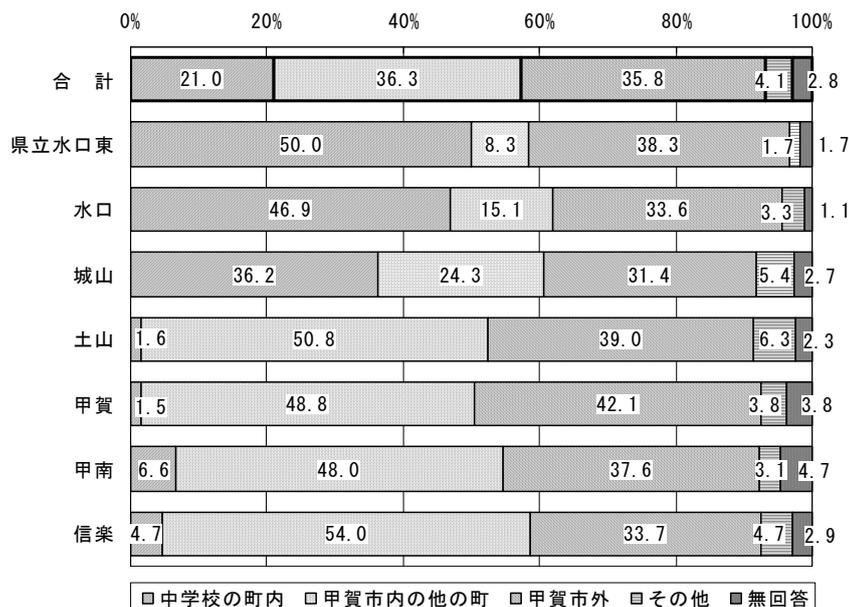


図3-3 <中学校別>ファッション関係の買物場所(複数回答)

2) ファッション関係の買物場所を選ぶ理由【問3-1-2】

回答総数を100%としてファッション関係の買物場所を選ぶ理由をみると、「何でもそろう」が507票(40.6%)と最も多く、次いで「値段が安い手ごろ」が289票(23.2%)である。以下「交通の便がよい」が201票(16.1%)、「昔からのなじみ」が137票(11.0%)となっている。

中学校別では、全中学校がほぼ全体と同傾向にある。県立水口東中学校のみが僅差で第2位と3位が逆転している。

表3-4 <中学校別>ファッション関係の買物場所を選ぶ理由(複数回答)

区分	何でもそろう	値段が安い手ごろ	昔からのなじみ	交通の便がよい	その他	無回答	合計
合計	507 40.6	289 23.2	137 11.0	201 16.1	56 4.5	57 4.6	1,247 100.0
県立水口東	22 37.3	12 20.3	7 11.9	13 22.0	3 5.1	2 3.4	59 100.0
水口	108 40.6	64 24.0	26 9.8	49 18.4	9 3.4	10 3.8	266 100.0
城山	71 38.2	47 25.2	20 10.8	29 15.6	11 5.9	8 4.3	186 100.0
土山	62 42.8	30 20.7	16 11.0	27 18.6	6 4.1	4 2.8	145 100.0
甲賀	61 43.9	29 20.9	13 9.4	23 16.5	6 4.3	7 5.0	139 100.0
甲南	115 39.7	71 24.5	36 12.4	41 14.1	12 4.1	15 5.2	290 100.0
信楽	68 42.0	36 22.2	19 11.7	19 11.7	9 5.6	11 6.8	162 100.0

注) 回答総数を100%としている。

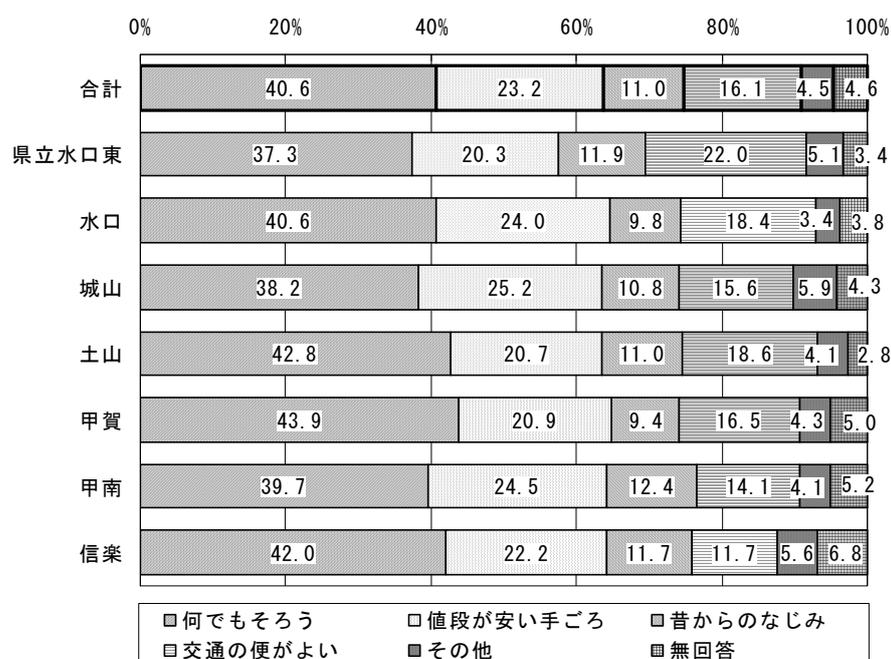


図3-4 <中学校別>ファッション関係の買物場所を選ぶ理由(複数回答)

3) 病院・診療所の場所【問3-2-1】

回答総数を100%として病院・診療所の場所をみると、「甲賀市内の他の町」が462票(43.6%)と最も多く、次いで「中学校の町内」が431票(40.6%)、「甲賀市外」が110票(10.4%)となっている。

中学校別において、水口町にある県立水口東、水口、城山と信楽中学校の計4校は、第1位が「中学校の町内」(約41~66%)で、第2位が「甲賀市内の他の町」(約19~40%)、第3位が「甲賀市外」(約7~28%)である。

土山、甲南中学校の2校は全体と同傾向で、第1位が「甲賀市内の他の町」(約52~64%)で、第2位が「中学校の町内」(約21~33%)、第3位が「甲賀市外」(約5~11%)である。

甲賀中学校の第1位は「甲賀市内の他の町」(75.2%)で、第2位は「甲賀市外」(14.1%)である。

表3-5 <中学校別>病院・診療所の場所(複数回答)

区分	中学校の町内	甲賀市内の他の町	甲賀市外	その他	無回答	合計
合計	431	462	110	11	47	1,061
	40.6	43.6	10.4	1.0	4.4	100.0
県立水口東	22	15	15		2	54
	40.7	27.8	27.8		3.7	100.0
水口	146	42	28	1	4	221
	66.0	19.0	12.7	0.5	1.8	100.0
城山	83	52	10		10	155
	53.5	33.5	6.5		6.5	100.0
土山	24	73	12		5	114
	21.1	64.0	10.5		4.4	100.0
甲賀	7	91	17	1	5	121
	5.8	75.2	14.1	0.8	4.1	100.0
甲南	81	129	11	8	17	246
	32.9	52.4	4.5	3.3	6.9	100.0
信楽	68	60	17	1	4	150
	45.3	40.0	11.3	0.7	2.7	100.0

注) 回答総数を100%としている。

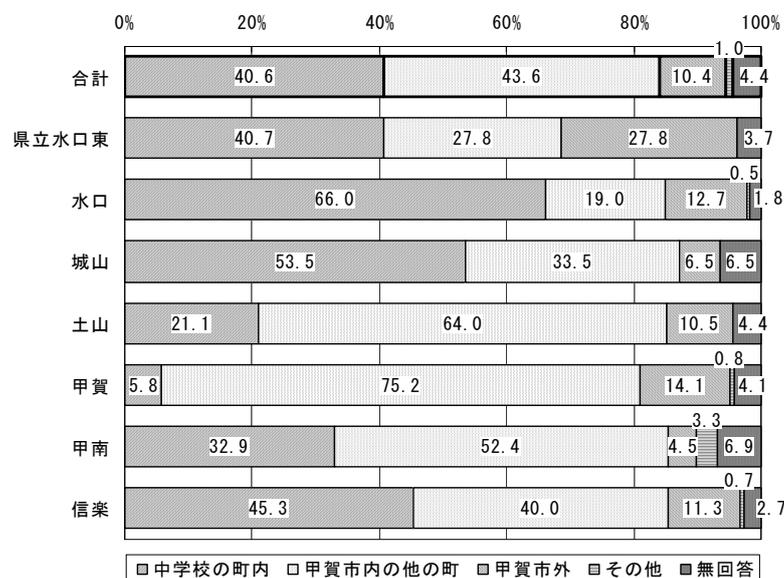


図3-5 <中学校別>病院・診療所の場所(複数回答)

4) 病院等を選ぶ理由【問3-2-2】

回答総数を100%として病院等を選ぶ理由をみると、「昔からのなじみ」が499票（48.5%）と最も多く、次いで「交通の便がよい」が264票（25.7%）となっている。

中学校別では、全中学校が全体傾向と同じで、第1位が「昔からのなじみ」、第2位が「交通の便がよい」である。

表3-6 <中学校別>病院等を選ぶ理由（複数回答）

区分	何でもそろう	値段が安い手ごろ	昔からのなじみ	交通の便がよい	その他	無回答	合計
合計	60	51	499	264	55	100	1,029
	5.8	5.0	48.5	25.7	5.3	9.7	100.0
県立水口東	5	4	21	19	2	3	54
	9.3	7.4	38.8	35.2	3.7	5.6	100.0
水口	10	12	100	69	15	15	221
	4.5	5.4	45.3	31.2	6.8	6.8	100.0
城山	11	4	69	39	8	19	150
	7.3	2.7	46.0	26.0	5.3	12.7	100.0
土山	7	3	53	30	8	8	109
	6.4	2.8	48.7	27.5	7.3	7.3	100.0
甲賀	6	10	69	23	3	10	121
	4.9	8.3	57.0	19.0	2.5	8.3	100.0
甲南	16	9	120	54	13	28	240
	6.7	3.8	50.0	22.5	5.4	11.6	100.0
信楽	5	9	67	30	6	17	134
	3.7	6.7	50.0	22.4	4.5	12.7	100.0

注) 回答総数を100%としている。

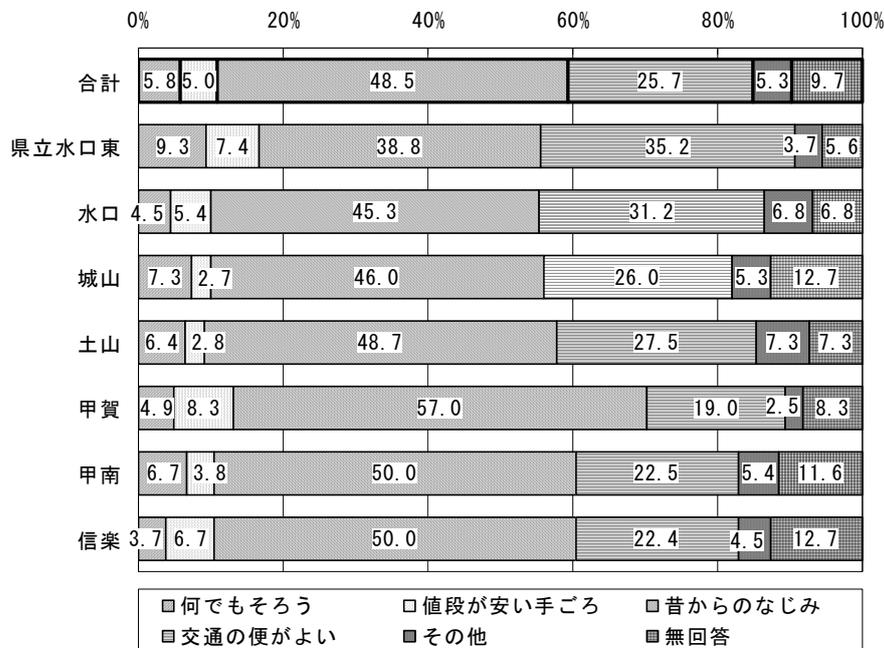


図3-6 <中学校別>病院等を選ぶ理由（複数回答）

5) 友人との会合や飲食の場所【問3-3-1】

回答総数を100%として友人との会合や飲食の場所をみると、「甲賀市内の他の町」が449票(37.6%)と最も多く、次いで「中学校の町内」が424票(35.6%)、「甲賀市外」が250票(21.0%)と続く。

中学校別において、水口町にある県立水口東、水口、城山中学校の3校は、第1位が「中学校の町内」(約49~56%)である。第2位が県立水口東と城山の2校は「甲賀市内の他の町」(約25~26%)で、水口中学校は「甲賀市外」(22.9%)となっている。

水口町以外の他校は第1位が「甲賀市内の他の町」(約40~59%)である。土山、甲南、信楽中学校は全体傾向と同じであるが、甲賀中学校は第2位が「甲賀市外」である。

表3-7 <中学校別>友人との会合や飲食の場所(複数回答)

区分	中学校の町内	甲賀市内の他の町	甲賀市外	その他	無回答	合計
合計	424 35.6	449 37.6	250 21.0	33 2.8	36 3.0	1,192 100.0
県立水口東	32 49.2	16 24.6	13 20.0	2 3.1	2 3.1	65 100.0
水口	146 55.7	49 18.7	60 22.9	5 1.9	2 0.8	262 100.0
城山	86 50.9	44 26.0	30 17.7	3 1.8	6 3.6	169 100.0
土山	25 20.0	74 59.2	20 16.0	3 2.4	3 2.4	125 100.0
甲賀	32 22.4	57 39.8	42 29.4	8 5.6	4 2.8	143 100.0
甲南	59 21.9	132 49.1	53 19.7	10 3.7	15 5.6	269 100.0
信楽	44 27.7	77 48.4	32 20.1	2 1.3	4 2.5	159 100.0

注) 回答総数を100%としている。

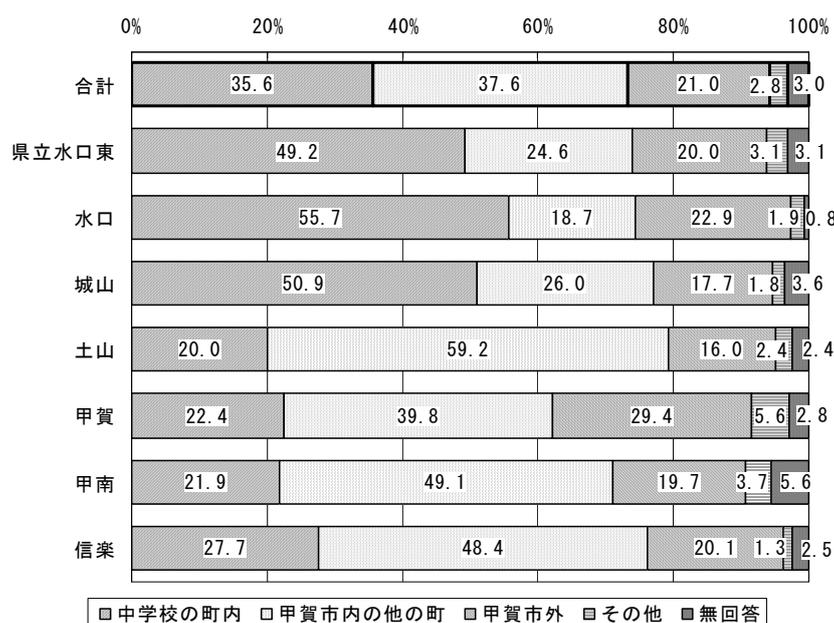


図3-7 <中学校別>友人との会合や飲食の場所(複数回答)

6) 会合等の場所を選ぶ理由【問3-3-2】

回答総数を100%として会合等の場所を選ぶ理由をみると、「交通の便がよい」が323票(28.1%)と最も多く、次いで「値段が安い手ごろ」が283票(24.6%)で、以下「昔からのなじみ」が195票(16.9%)、「なんでもそろろう」が182票(15.8%)と続く。

中学校別では、県立水口東、水口、城山、土山、甲南中学校の5校は全体傾向と同じで、第1位が「交通の便が良い」(約23~33%)、水口、城山、土山、甲南で第2位が「値段が安い手ごろ」(約23~27%)、県立水口東は2位が「何でもそろろう」(19.3%)である。

甲賀中学校では第1位が「値段が安い手ごろ」(31.1%)で、第2位が「交通の便がよい」(26.7%)である。

信楽中学校では第1位が同率(22.6%)で「値段が安い手ごろ」と「昔からのなじみ」で、第3位が「交通の便がよい」(21.2%)となっている。

表3-8 <中学校別>会合等の場所を選ぶ理由(複数回答)

区分	何でもそろろう	値段が安い手ごろ	昔からのなじみ	交通の便がよい	その他	無回答	合計
合計	182	283	195	323	81	87	1,151
	15.8	24.6	16.9	28.1	7.0	7.6	100.0
県立水口東	11	9	8	19	7	3	57
	19.3	15.8	14.0	33.3	12.3	5.3	100.0
水口	37	68	38	83	16	12	254
	14.6	26.8	15.0	32.6	6.3	4.7	100.0
城山	29	43	23	52	10	13	170
	17.1	25.3	13.5	30.6	5.9	7.6	100.0
土山	15	29	25	41	13	5	128
	11.7	22.7	19.5	32.0	10.2	3.9	100.0
甲賀	22	42	15	36	11	9	135
	16.3	31.1	11.1	26.7	8.1	6.7	100.0
甲南	45	59	53	61	15	28	261
	17.3	22.6	20.3	23.4	5.7	10.7	100.0
信楽	23	33	33	31	9	17	146
	15.8	22.6	22.6	21.2	6.2	11.6	100.0

注) 回答総数を100%としている。

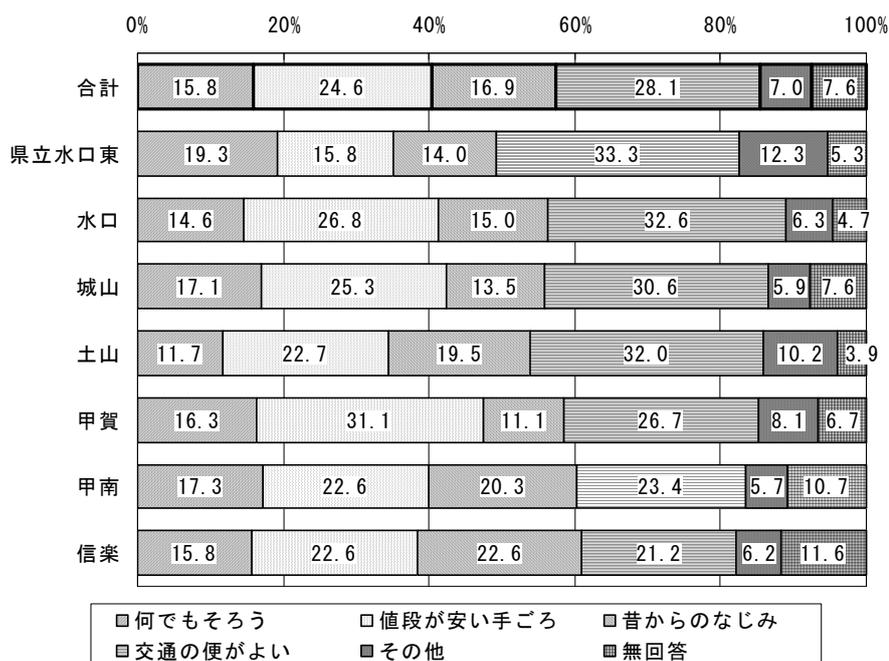


図3-8 <中学校別>会合等の場所を選ぶ理由（複数回答）

(4) 甲賀市の良いところ【問4】

甲賀市の良いところは、「緑豊かな山々」が 587 票（63.7%）、「災害が少ない」が 486 票（52.8%）と、どちらも5割を超える。次いで「空気がきれい」が 444 票（48.2%）、「景色や環境がよい」が 410 票（44.5%）と自然環境面の項目があげられている。以下第5位～第7位は、「買物が便利」が 355 票（38.5%）、「伝統文化が豊か」が 334 票（36.3%）、「文化施設が多い」が 318 票（34.5%）と続く。

表3-9 甲賀市の良いところ（複数回答）

区分	回答者総数	〈自然環境などで良いもの〉						〈防犯・防災・救急などで良いもの〉			〈交通上で良いもの〉		
		川がきれい	緑豊かな山々がある	空気がきれい	景色や環境が良い	伝統文化が豊か	親族や知人が多く住む	治安が良い	災害が少ない	救急体制が整っている	自宅付近の道路は整っている	バス交通が便利	鉄道が便利
回答数(票)	921	211	587	444	410	334	276	220	486	178	291	228	201
比率(%)	—	22.9	63.7	48.2	44.5	36.3	30.0	23.9	52.8	19.3	31.6	24.8	21.8
区分	回答者総数	〈生活する上で良いもの〉								無回答			
		買物が便利	住宅地が整っている	下水道が整っている	公園等が整っている	学校が選びやすい	スポーツ施設が多い	文化施設が多い	病院等が多い		保育・福祉施設が多い		
回答数(票)	355	188	222	245	173	144	318	213	243	35			
比率(%)	38.5	20.4	24.1	26.6	18.8	15.6	34.5	23.1	26.4	3.8			

注) 複数回答であることから、回答者総数を母数とする比率の合計は100%にならない場合がある。

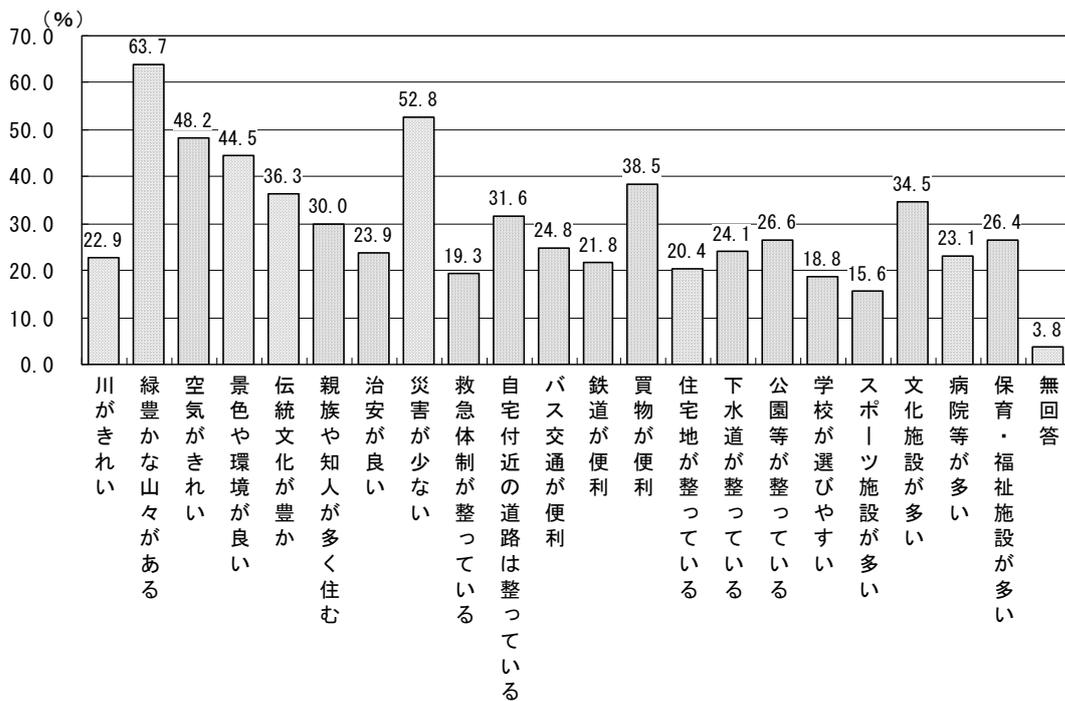


図3-9 甲賀市の良いところ（複数回答）

(5) 甲賀市の良くないところ【問5】

甲賀市の良くないところは、「川が汚い」が 445 票（48.3%）と最も多く、次いで「鉄道が不便」が 361 票（39.2%）で、以下「買物が不便」が 356 票（38.7%）、「スポーツ施設が少ない」が 355 票（38.5%）、「バス交通が不便」が 279 票（30.3%）、「学校が選びにくい」が 275 票（29.9%）、「自宅付近の道路が不備」が 235 票（25.5%）と続く。

甲賀市の良くないところの上位に、交通関係の項目が多くあげられている。

表3-10 甲賀市の良くないところ（複数回答）

区分	回答者総数	〈自然・歴史環境関係〉					〈防犯・防災・救急関係〉				〈交通関係〉		
		川が汚い	緑が減った	空気が汚れてきた	景色や環境が悪くなった	伝統文化が失われていく	親族や知人が転居していく	治安が悪い	災害が多い	救急体制が不備	自宅付近の道路が不備	バス交通が不便	鉄道が不便
回答数(票)	921	445	201	205	112	105	62	132	65	164	235	279	361
比率(%)	—	48.3	21.8	22.3	12.2	11.4	6.7	14.3	7.1	17.8	25.5	30.3	39.2
区分	〈生活環境関係〉									無回答			
	買物が不便	住宅地が不備	下水道が不備	公園等が不備	学校が選びにくい	スポーツ施設が少ない	文化施設が少ない	病院等が少ない	保育・福祉施設が少ない				
回答数(票)	356	97	136	203	275	355	161	191	100	46			
比率(%)	38.7	10.5	14.8	22.0	29.9	38.5	17.5	20.7	10.9	5.0			

注) 複数回答であることから、回答者総数を母数とする比率の合計は 100%にならない場合がある。

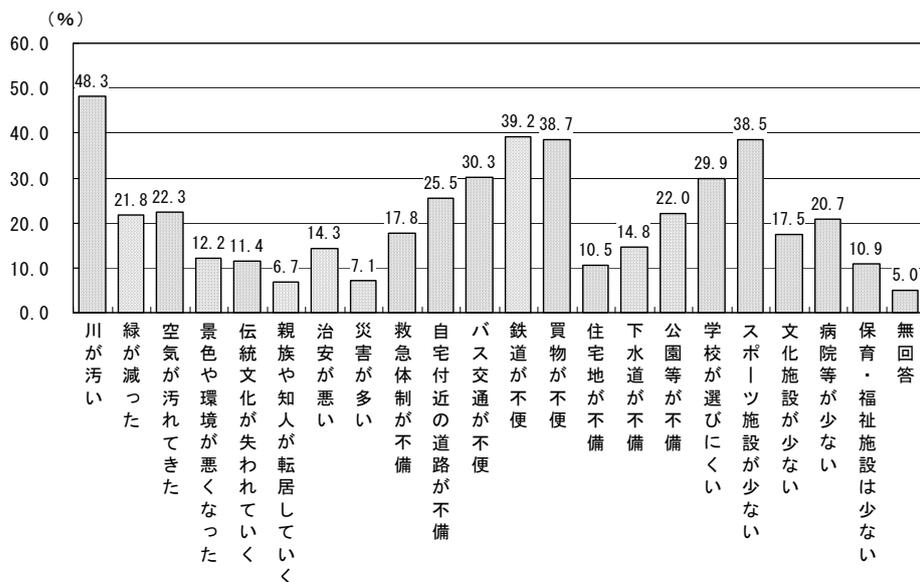


図3-10 甲賀市の良くないところ（複数回答）

(6) 甲賀市の将来都市像【問6】

甲賀市のめざすべき将来都市像は、「自然が豊かな都市」が 563 票（61.1%）と最も多い。次いで「商業が発展した都市」が 396 票（43.0%）、「住宅地を中心にした都市」が 386 票（41.9%）、「観光客が訪れる都市」が 262 票（28.4%）となり、「農地と風景に恵まれた都市」と「保健・福祉が整った都市」が 216 票（23.5%）と同数で続く。

表3-11 甲賀市の将来都市像（複数回答）

区分	回答者総数	自然が豊かな都市	農地と風景に恵まれた都市	住宅地を中心にした都市	保健・福祉が充実した都市	工業が発展した都市	高速道路を活かした産業が発展した都市	商業が発展した都市	観光客が訪れる都市	その他	無回答
回答数(票)	921	563	216	386	216	43	83	396	262	28	46
比率(%)	—	61.1	23.5	41.9	23.5	4.7	9.0	43.0	28.4	3.0	5.0

注) 複数回答であることから、回答者総数を母数とする比率の合計は100%にならない場合がある。

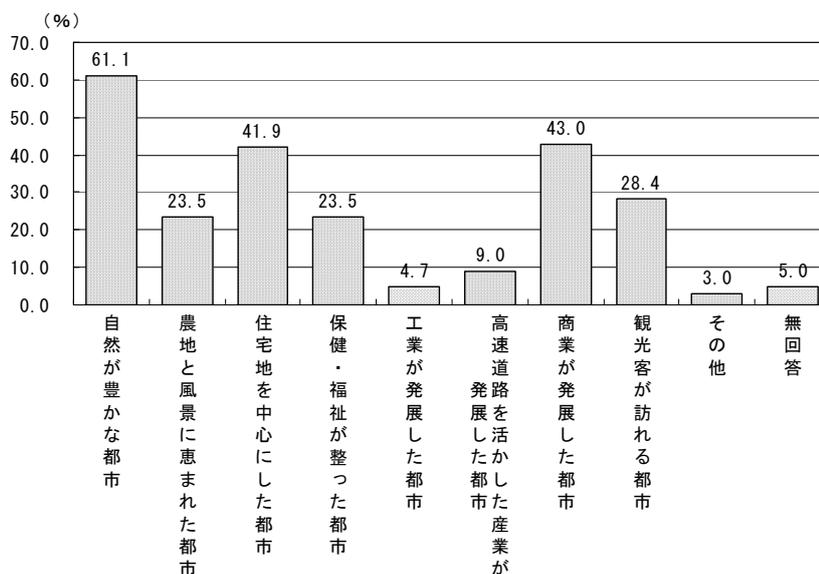


図3-11 甲賀市の将来都市像（複数回答）

(7) 良い都市づくりの方策【問7】

良い都市づくりの方策と思うものは、「川や水辺を守る」が 338 票 (36.7%) と最も多く、僅差で「山や緑を守る」が 335 票 (36.4%) と続き、次いで「空気が汚れないようにする」が 245 票 (26.6%) で、上位に自然・歴史環境面の方策があげられている。以下「鉄道本数を増やす」が 206 票 (22.4%)、「各町中心街を発展させる」が 193 票 (21.0%)、「市中心商業地を発展させる」が 191 票 (20.7%)、と続く。

表3—12 良い都市づくりの方策（複数回答）

区分	回答者総数	(自然・歴史環境などに関して)				(農業などに関して)		(防犯・防災などに関して)				(交通などに関して)			
		川や水辺を守る	山や緑を守る	空気が汚れないようにする	伝統的な文化を残す	農地を残す	農地、農道等を整える	防犯対策の強化	防災対策の強化	救急体制の強化	交通安全対策、消防の強化	町内道路を整える	バスの本数、経路を増やす	鉄道本数を増やす	
回答数(票)	921	338	335	245	146	70	39	135	156	81	47	76	139	206	
比率(%)	—	36.7	36.4	26.6	15.9	7.6	4.2	14.7	16.9	8.8	5.1	8.3	15.1	22.4	

区分	(買物などに関して)				(住宅地などに関して)		(生活関連施設などに関して)										無回答
	市中心商業地を発展させる	各町中心街を発展させる	大きな道路の沿道に商業地をつくる	現在の住宅地を改善する	新しい住宅地を建設する	下水道を整える	公園等を整える	スポーツ施設を整える	高校等を整える	図書館、文化ホールを整える	病院等を整える	保育施設を整える	高齢者の支援施設を整える	保健・福祉施設を整える			
回答数(票)	191	193	66	46	34	54	86	179	111	58	71	18	67	40	21		
比率(%)	20.7	21.0	7.2	5.0	3.7	5.9	9.3	19.4	12.1	6.3	7.7	2.0	7.3	4.3	2.3		

注) 複数回答であることから、回答者総数を母数とする比率の合計は100%にならない場合がある。

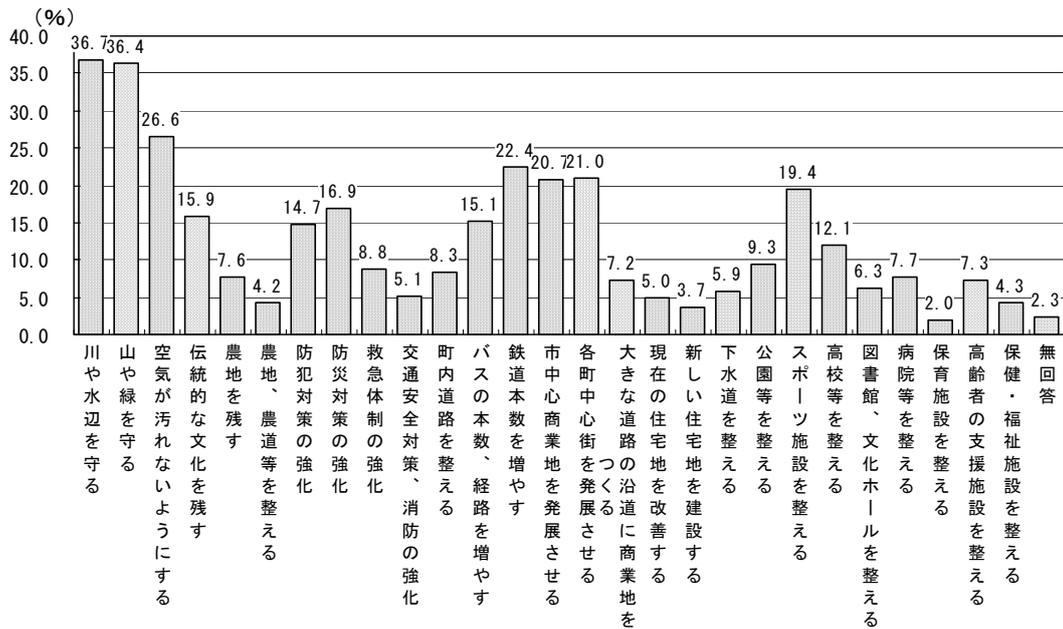


図3—12 良い都市づくりの方策（複数回答）

(8) 地区のイメージ【問8】

地区（中学校校区一帯）のイメージは、「自然が豊かな地区」が 595 票（64.6%）と最も多く、次いで「住宅地を中心にした地区」が 404 票（43.9%）、「商業が発展した地区」が 371 票（40.3%）と並ぶ。

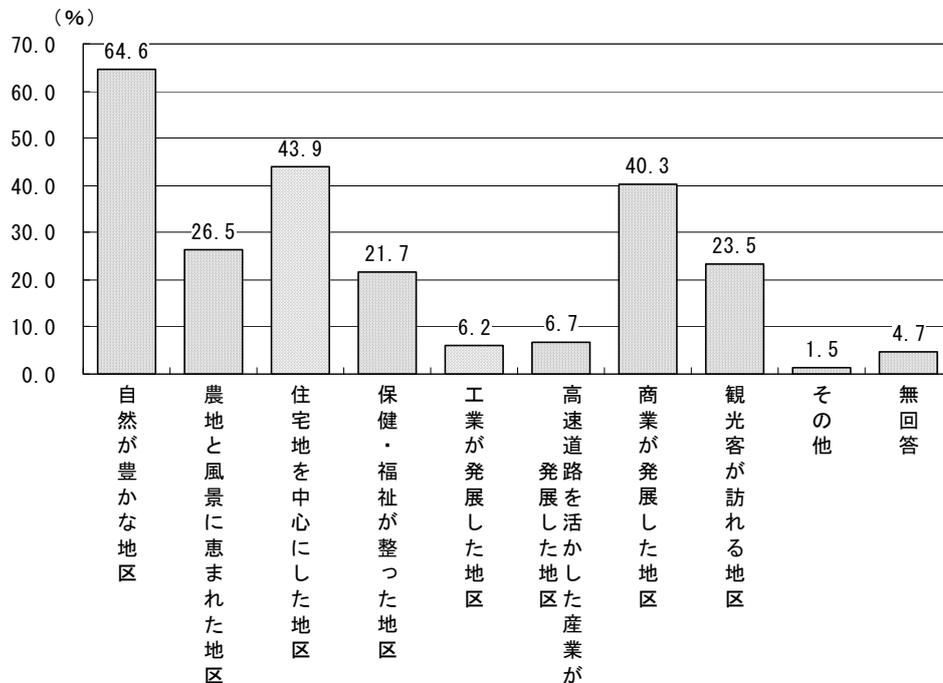


図 3-13 地区のイメージ（複数回答）

中学校別において、水口、城山、土山、甲賀、甲南中学校の 5 校は全体傾向と同じで、第 1 位が「自然が豊かな地区」（約 60～72%）で、第 2 位が城山、甲賀、甲南で「住宅地を中心にした地区」（約 46～51%）、水口、土山で「商業が発展した地区」（約 42～45%）、第 3 位が城山、甲賀、甲南で「商業が発展した地区」（約 38～46%）、水口、土山が「住宅地を中心とした地区」（約 35～43%）となっている。

他の 2 校も第 1 位と第 2 位は上記と同じであるが、信楽中学校は第 3 位に「観光客が訪れる地区」（35.5%）、県立水口東中学校は第 3 位に「農地と風景に恵まれた地区」（24.0%）となっている。この項目は土山、信楽中学校でも 3 割を超えている。

他に 3 割を超える項目をみると、信楽中学校で「商業が発展した地区」、水口中学校で「保健・福祉が整った地区」がある。

表 3-13 <中学校別>地区のイメージ（複数回答）

区分	回答者総数	自然が豊かな地区	農地と風景に恵まれた地区	住宅地を中心にした地区	保健・福祉が充実した地区	工業が発展した地区	高速道路を活かした産業が発展した地区	商業が発展した地区	観光客が訪れる地区	その他	無回答
合計	921	595	244	404	200	57	62	371	216	14	43
	—	64.6	26.5	43.9	21.7	6.2	6.7	40.3	23.5	1.5	4.7
県立水口東	50	32	12	18	7	2	1	11	6	2	1
	—	64.0	24.0	36.0	14.0	4.0	2.0	22.0	12.0	4.0	2.0
水口	192	123	49	82	61	7	4	86	46	3	9
	—	64.1	25.5	42.7	31.8	3.6	2.1	44.8	24.0	1.6	4.7
城山	136	87	31	63	26	8	12	58	35	1	8
	—	64.0	22.8	46.3	19.1	5.9	8.8	42.6	25.7	0.7	5.9
土山	98	71	30	34	28	8	17	41	25	2	2
	—	72.4	30.6	34.7	28.6	8.2	17.3	41.8	25.5	2.0	2.0
甲賀	112	67	24	55	25	7	4	42	16	3	9
	—	59.8	21.4	49.1	22.3	6.3	3.6	37.5	14.3	2.7	8.0
甲南	209	137	60	107	31	17	11	95	44	3	5
	—	65.6	28.7	51.2	14.8	8.1	5.3	45.5	21.1	1.4	2.4
信楽	124	78	38	45	22	8	13	38	44	0	9
	—	62.9	30.6	36.3	17.7	6.5	10.5	30.6	35.5	0.0	7.3

注) 複数回答であることから、回答者総数を母数とする比率の合計は 100%にならない場合がある。

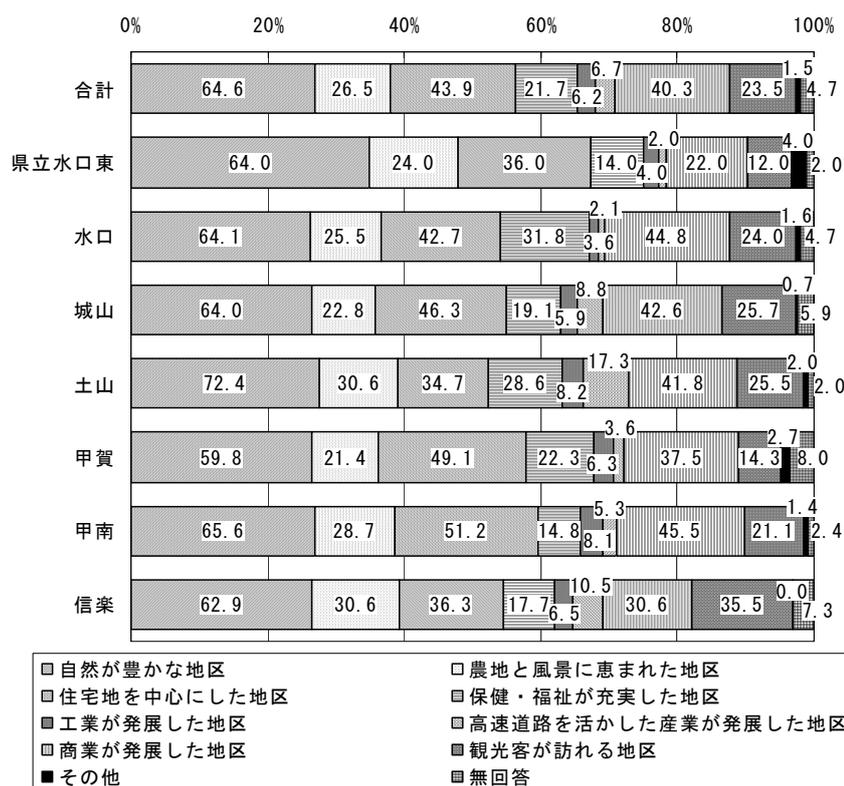


図 3-14 <中学校別>地区のイメージ（複数回答）

(9) 地区の良いまちづくりの方策【問9】

地区(近所)での良いまちづくりの方策と思うものは、「川や水辺を守る」が 320 票 (34.7%) と最も多く、次いで「山や緑を守る」が 311 票 (33.8%) である。以下「町の中心街を發展さ

せる」が 256 票 (27.8%)、「空気が汚れないようにする」が 228 票 (24.8%) と続く。

上位に自然・歴史環境面の方策があげられている。

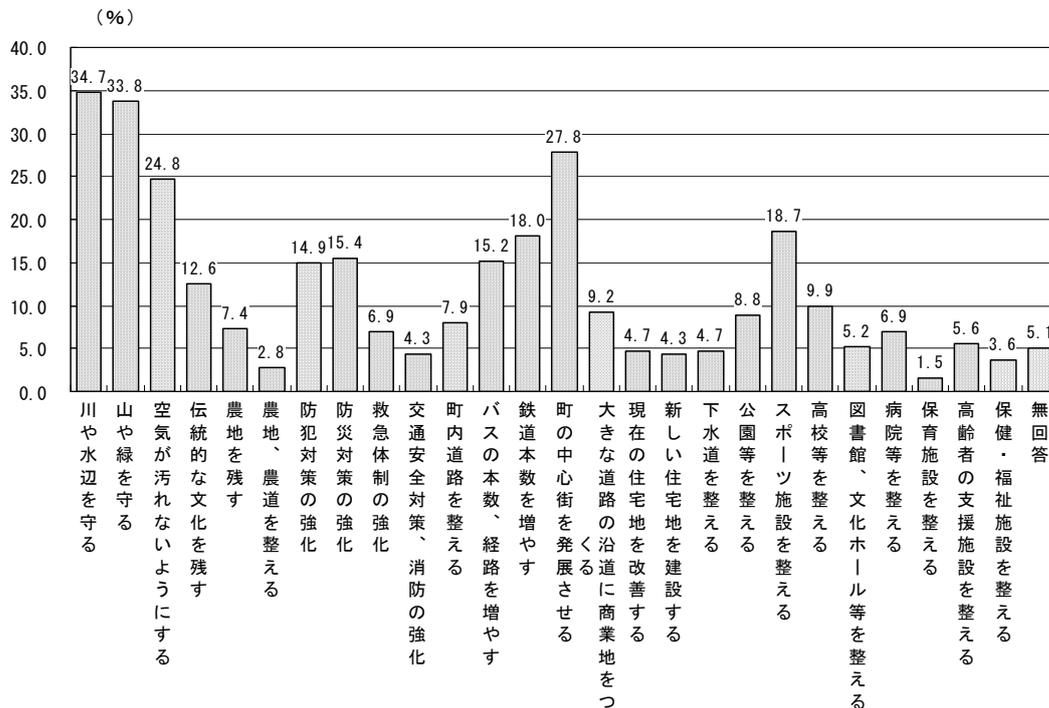


図 3-15 地区の良いまちづくりの方策 (複数回答)

中学校別では、上位は自然・歴史環境系の方策など、全体と似たような項目が並ぶ。

県立水口東は第 1 位が「山や緑を守る」(36.0%)で、第 2 位が「川や水辺を守る」(34.0%)、第 3 位が「バスの本数、経路を増やす」(26.0%)で、第 4 位が同率 (22.0%) で「空気が汚れないようにする」、「防災対策の強化」と「鉄道本数を増やす」である。

水口中学校は第 1 位が「川や水辺を守る」(40.1%)で、第 2 位が「山や緑を守る」(31.3%)で、第 3 位が「町の中心街を発展させる」(29.7%)で、第 4 位は「空気が汚れないようにする」(28.6%)である。

甲南中学校は第 1 位～第 3 位 (但し、1 位と 2 位は同率) は水口中学校と同じであるが、第 4 位は「スポーツ施設を整える」(29.2%)である。

甲賀中学校の第 1 位は上記と同じ項目であるが、第 2 位が「町の中心街を発展させる」(26.8%)、第 3 位が「空気が汚れないようにする」(25.9%)、第 4 位が「山や緑を守る」(25.0%)である。

城山、土山、信楽中学校の 3 校は第 1 位が「山や緑を守る」(約 35～38%)、第 2 位が「川や水辺を守る」(約 30～34%)である。

城山中学校の第 3 位は「町の中心街を発展させる」(23.5%)、第 4 位は「空気が汚れないようにする」(21.3%)である。

土山中学校の第 3 位は「バスの本数、経路を増やす」(28.6%)、第 4 位は「空気が汚れないようにする」(23.5%)である。

信楽中学校の第 3 位は「町の中心街を発展させる」(31.5%)、第 4 位は「鉄道本数を増やす」(28.2%)である。

表3-14 <中学校別>地区の良いまちづくりの方策（複数回答）

区分	回答者 総数	川や水辺 を守る	山や緑を 守る	空気が汚 れないよ うにする	伝統的な 文化を残 す	農地を残 す	農地、農 道を整え る	防犯対策 の強化	防災対策 の強化	救急体制 の強化	交通安全 対策、消 防の強化	町内道路 を整える	バスの本 数、経路 を増やす	鉄道本数 を増やす	町の中心 街を発展 させる	大きな道 路の沿道 に商業地 をつくる	現在の住 宅地を改 善する	新しい住 宅地を建 設する	下水道を 整える	公園等を 整える	スポーツ 施設を整 える	高等等を 整える	図書館、 文化ホー ル等を整 える	病院等を 整える	保育施設 を整える	高齢者の 支援施設 を整える	保健・福 祉施設を 整える	無回答
合計	921	320	311	228	116	68	26	137	142	64	40	73	140	166	256	85	43	40	43	81	172	91	48	64	14	52	33	47
	—	34.7	33.8	24.8	12.6	7.4	2.8	14.9	15.4	6.9	4.3	7.9	15.2	18.0	27.8	9.2	4.7	4.3	4.7	8.8	18.7	9.9	5.2	6.9	1.5	5.6	3.6	5.1
県立水口東	50	17	18	11	7	2	1	10	11	6	1	3	13	11	8	0	2	4	1	8	1	6	4	5	0	1	1	1
	—	34.0	36.0	22.0	14.0	4.0	2.0	20.0	22.0	12.0	2.0	6.0	26.0	22.0	16.0	0.0	4.0	8.0	2.0	16.0	2.0	12.0	8.0	10.0	0.0	2.0	2.0	2.0
水口	192	77	60	55	15	18	11	42	27	11	11	18	21	23	57	17	11	8	8	18	28	17	7	16	4	17	14	11
	—	40.1	31.3	28.6	7.8	9.4	5.7	21.9	14.1	5.7	5.7	9.4	10.9	12.0	29.7	8.9	5.7	4.2	4.2	9.4	14.6	8.9	3.6	8.3	2.1	8.9	7.3	5.7
城山	136	41	47	29	20	9	4	20	27	2	5	10	23	20	32	12	8	2	9	9	23	9	3	3	3	10	4	10
	—	30.1	34.6	21.3	14.7	6.6	2.9	14.7	19.9	1.5	3.7	7.4	16.9	14.7	23.5	8.8	5.9	1.5	6.6	6.6	16.9	6.6	2.2	2.2	2.2	7.4	2.9	7.4
土山	98	33	37	23	10	4	1	11	15	17	5	3	28	17	22	12	2	3	3	10	17	12	7	11	0	7	2	1
	—	33.7	37.8	23.5	10.2	4.1	1.0	11.2	15.3	17.3	5.1	3.1	28.6	17.3	22.4	12.2	2.0	3.1	3.1	10.2	17.3	12.2	7.1	11.2	0.0	7.1	2.0	1.0
甲賀	112	33	28	29	18	11	2	11	9	8	7	16	12	19	30	13	4	8	3	10	23	15	3	12	2	4	3	9
	—	29.5	25.0	25.9	16.1	9.8	1.8	9.8	8.0	7.1	6.3	14.3	10.7	17.0	26.8	11.6	3.6	7.1	2.7	8.9	20.5	13.4	2.7	10.7	1.8	3.6	2.7	8.0
甲南	209	78	78	57	24	12	2	26	31	10	6	16	18	41	68	23	10	6	9	15	61	20	16	4	2	8	4	5
	—	37.3	37.3	27.3	11.5	5.7	1.0	12.4	14.8	4.8	2.9	7.7	8.6	19.6	32.5	11.0	4.8	2.9	4.3	7.2	29.2	9.6	7.7	1.9	1.0	3.8	1.9	2.4
信楽	124	41	43	24	22	12	5	17	22	10	5	7	25	35	39	8	6	9	10	11	19	12	8	13	3	5	5	10
	—	33.1	34.7	19.4	17.7	9.7	4.0	13.7	17.7	8.1	4.0	5.6	20.2	28.2	31.5	6.5	4.8	7.3	8.1	8.9	15.3	9.7	6.5	10.5	2.4	4.0	4.0	8.1

注) 複数回答であることから、回答者総数を母数とする比率の合計は100%にならない場合がある。

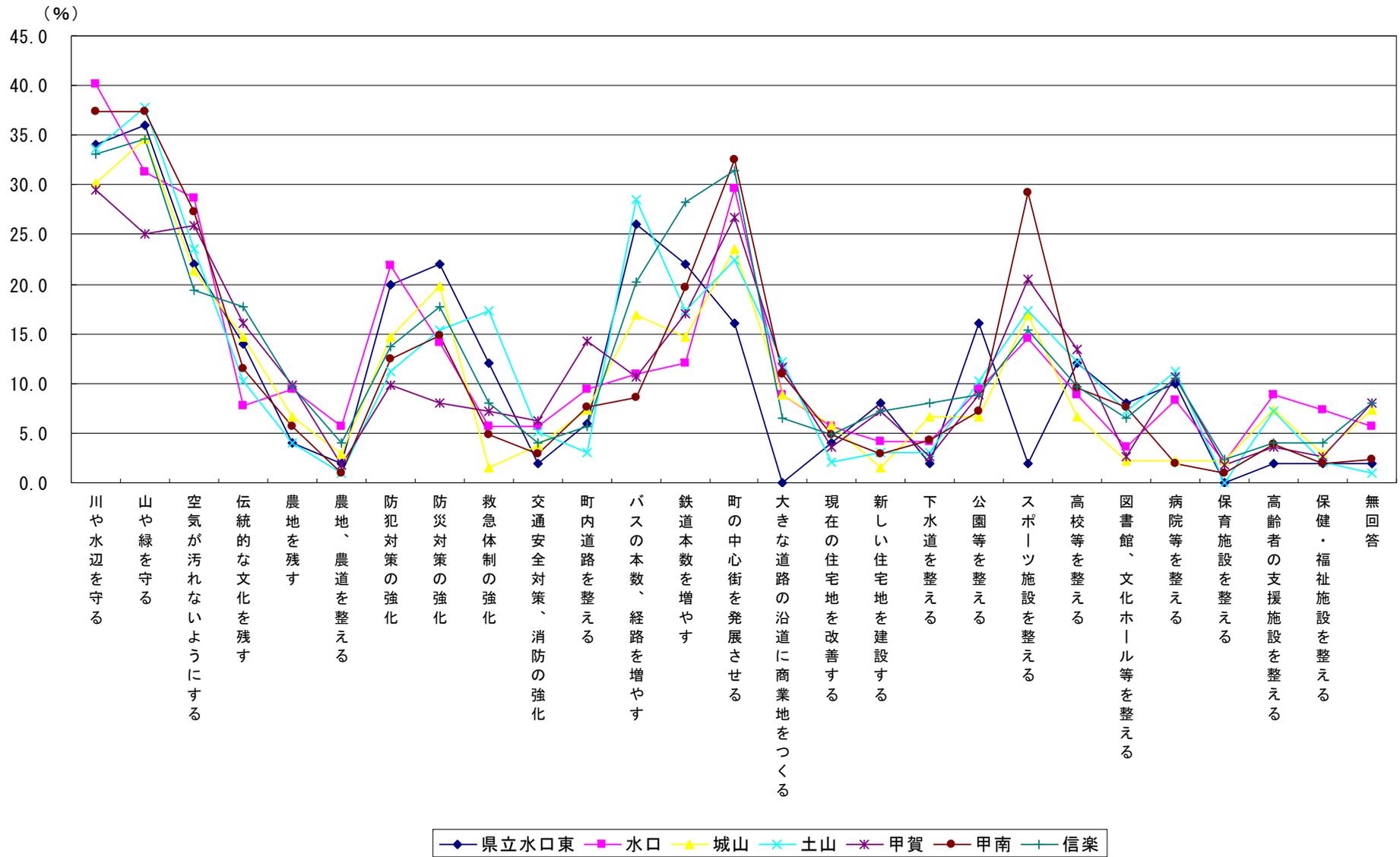


図3-16 <中学校別>地区の良いまちづくりの方策（複数回答）

(10) 中学生自由意見【問 10】

自由意見については、264名、約29%の方が記述されている。

記述内容については、商業を発展させる意見が154件と最も多いが、内容は多様である。次いで、自然環境を残す・増やす意見が多かった。主な意見を分類すると以下のとおりである。

■自由意見の分類と件数

◆商業を発展させる	154件
○店を増やす	(47)
○遊戯施設を増やす	(29)
○スポーツ施設を増やす	(24)
○コンビニを増やす	(19)
○デパートを増やす	(15)
○服屋を増やす	(9)
○スーパーを増やす	(5)
○その他	(6)
◆自然を残す・増やす	54件
◆公共交通機関の充実	48件
○交通の便を増やす	(32)
○道路の整備	(9)
○駅を増やす	(7)
◆住み良いまちづくり	42件
○住みやすいまちに	(21)
○防犯対策の強化	(10)
○公共施設を作る・見直し	(6)
○災害・地震対策	(5)
◆病院・救急病院を作る	6件

4. アンケート調査結果の概要と都市づくり・まちづくりへの指針

(1) 市民アンケート調査

1) 回答者の属性

《回答者の居住地（町）別構成比は、市人口総数の町別人口構成比に類似している。》

回答者の居住地（町）別人口構成比は、平成 12 年国勢調査の町別人口構成比に類似し、回答結果は地域別にみて甲賀市の人口分布を反映した意見と思われる。

表 4-1 回答者数町別構成比と市人口町別構成比の比較 単位：%

区 分	合計	水口町	土山町	甲賀町	甲南町	信楽町	無回答
回答者	100.0	38.3	10.3	12.9	22.0	16.1	0.4
市人口	100.0	40.0	10.1	12.8	21.5	15.6	—

2) よく利用する場所（市民生活の拠点場所）

《食料品・日用雑貨の買物場所は、水口町の 2 地区が全市の回答者で約 60%の大きなシェアを持ち、水口町を除く 4 町の中心地のシェアは町内回答者で 20%前後にとどまっている。》

食料品・日用雑貨の買物場所は、水口町の西友周辺とアルプラザ周辺の 2 地区が全回答者の 59.6%を占め、水口町・土山町・甲賀町・甲南町の町別回答者においても 53.5～69.1%を占める。一方、水口町を除く 4 町の中心地は同一町内の回答者において 16.9～23.5%になっている。

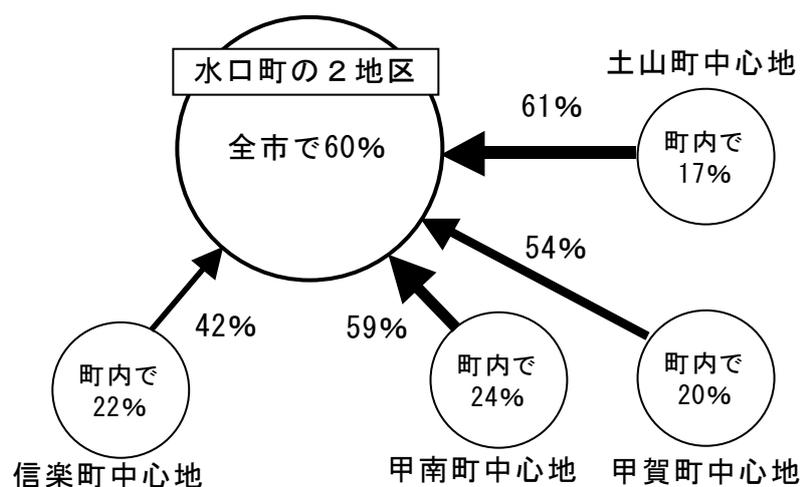


図 4-1 食料品・日用雑貨の買物場所＜構成比、%＞

《ファッション関係の買物場所は、水口町の2地区が全市の回答者で約55%のシェアを持ち、水口町を除く4町の中心地のシェアは町内回答者で2～8%にとどまっている。》

ファッション関係の買物場所は、水口町の西友周辺とアルプラザ周辺の2地区が全回答者の55.2%を占め、5町の町別回答者においても47.6～66.3%を占める。また、京都市が全市及び各町で10%前後を占めている。一方、水口町を除く4町の中心地は同一町内の回答者において2.3～7.9%になっている。

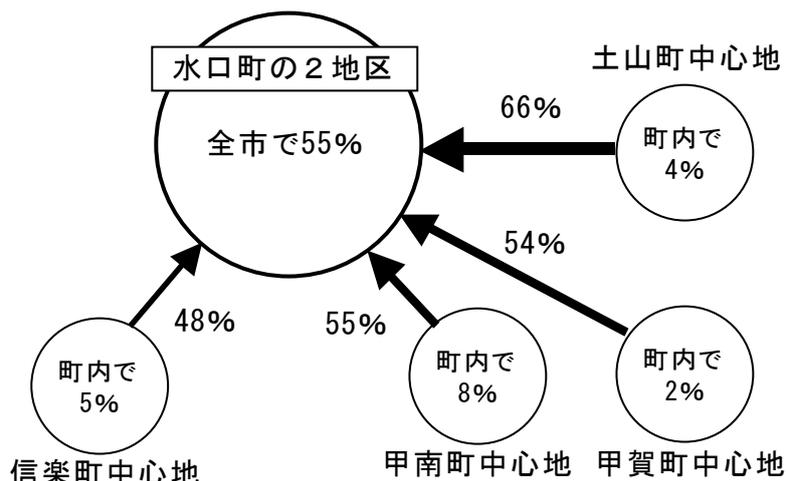


図4-2 ファッション関係の買物場所<構成比、%>

《病院・診療所の場所は、水口町中心地等が全市で36%を占め、土山町・甲賀町・甲南町の回答者でも第1位を占めている。》

病院・診療所の場所は、水口町中心地や国道沿道が全市で36.2%、土山町・甲賀町・甲南町の回答者でも32.5～43.0%で第1位を占めている。また、自宅近くが全市で28.1%であるほか、信楽町の回答者で信楽町中心地が43.4%、甲南町の回答者で甲南町中心地が25.2%を占めている。一方、甲賀町の回答者は甲南町中心地が17.7%を占めている。

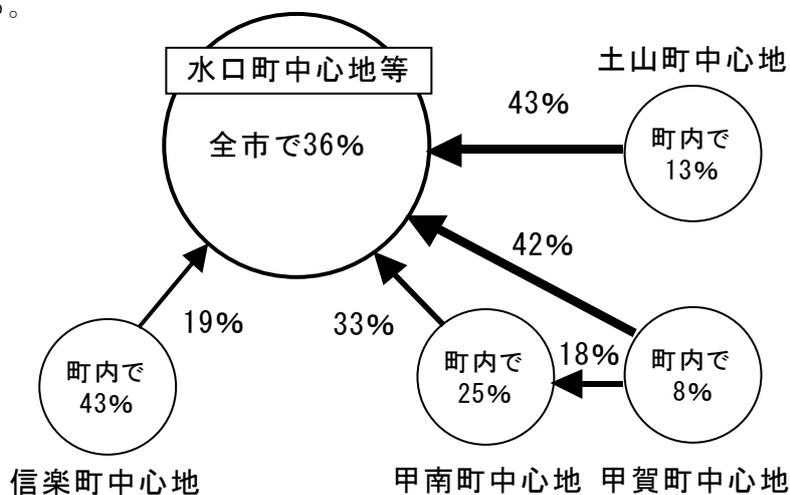


図4-3 病院・診療所の場所<構成比、%>

《友人との会合や飲食の場所は、水口町中心地等が全市で33%を占め、土山町・甲賀町・甲南町の回答者でも第1位を占めている。》

友人との会合や飲食の場所は、水口町中心地や国道沿道が全市で33.1%、土山町・甲賀町・甲南町の回答者でも27.2~42.5%で第1位を占めている。信楽町の回答者は信楽町中心地が31.7%で第1位を占めている。また、土山町・甲賀町・甲南町の回答者は同一町中心地が12.6~22.2%で第2位になっている。

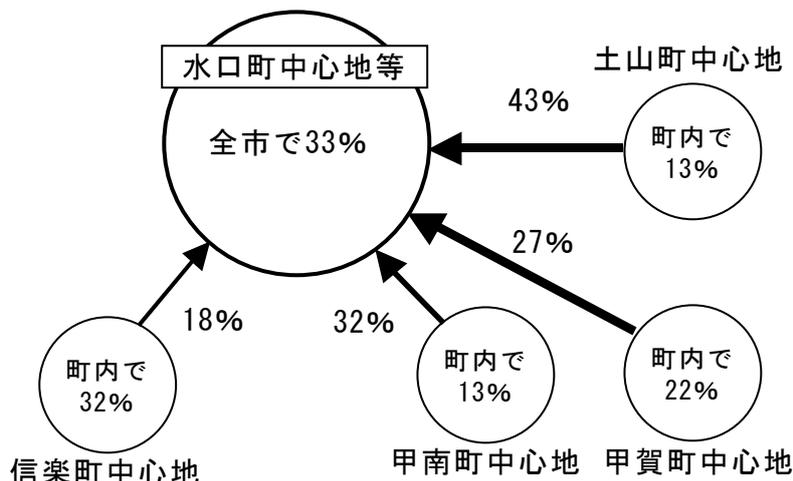


図4-4 友人との会合や飲食の場所<構成比、%>

《映画・パチンコ等の娯楽の場所は、水口町中心地等が全市で43%を占め、土山町・甲賀町・甲南町・信楽町の回答者でも第1位を占めている。》

映画・パチンコ等の娯楽の場所は、水口町中心地や国道沿道が全市で42.6%、土山町・甲賀町・甲南町・信楽町の回答者でも35.2~47.2%で第1位を占めている。一方、土山町・甲賀町・甲南町・信楽町の回答者は同一町中心地が1.2~9.0%で低く、第2位は草津市・大津市の中心地で7.5~16.4%（ただし、土山町は京都市が5.8%で第2位）になっている。

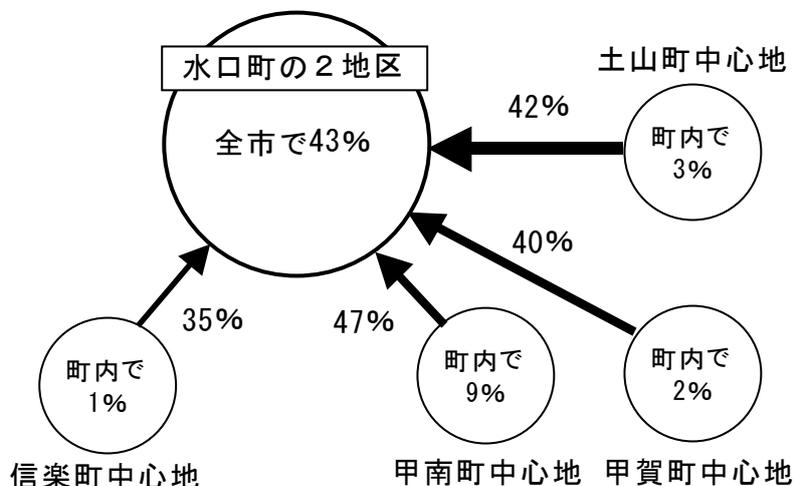


図4-5 映画・パチンコ等の娯楽の場所<構成比、%>

＜都市づくり上の検討課題＞

①都市構造において拠点の形成方針をどのように考えるか。

パターン1：5町の中心地を地域核として位置づけ、各々特色ある機能強化を図る。

⇒【課題】特色ある機能とは。

＜素案の例＞：

水口町中心地区：中心商業

土山町中心地区：歴史・文化

甲賀町中心地区：新産業

甲南町中心地区：業務

信楽町中心地区：観光・伝統産業

パターン2：水口町中心地を「都市拠点＜商業・業務機能＞、4町中心地を「地域拠点」と捉える。

⇒【課題】旧5町の均衡ある発展に支障を及ぼす。

3) 甲賀市の良いところ、良くないところ

《良いところは、「緑豊かな山々」「災害が少ない」は選択率が60%を超えるなど、自然環境面が上位を占めている。》

良いところは、選択率が30%以上の上位7項目の中で、「緑豊かな山々」(64%)、「災害が少ない」(63%)、「空気がきれい」(50%)、「景色や環境がよい」(33%)の自然環境に関するものが4項目あり、他に「買物が便利」(42%)、「下水道が整備されている」(32%)、「親族や知人が多く住む」(31%)がある。

《良くないところは、「鉄道が不便」「バス交通が不便」「幹線道路が不便」の交通関係が上位を占めている。》

良くないところは、選択率が30%以上の上位4項目の中で、「鉄道が不便」(55%)、「バス交通が不便」(44%)、「幹線道路が不便」(30%)の交通施設が上位を占め、他に「川が汚い」(30%)がある。次いで「通勤の交通が不便」(27%)、「病院等が少ない」(25%)となっている。

＜都市づくり上の検討課題＞

- ①土地利用方針、自然環境の整備方針等において、自然環境を保全する方針、開発を規制する方針を検討する必要性が高い。
- ②都市施設の整備方針において、幹線道路、鉄道、バス交通の整備方針を検討する必要性が高い。

4) 甲賀市の将来都市像と都市づくりの方策

＜将来都市像は、「保健・福祉が充実した都市」「自然豊かな都市」が50%以上を占めている。＞

将来都市像は、「保健・福祉が充実した都市」(53%)、「自然豊かな都市」(52%)が上位を占め、次いで「観光客が訪れる都市」(36%)、「住宅を中心にした都市」(34%)が続いている。

＜より良い都市づくりに重要な方策は、医療・高齢者福祉、自然環境の保全、防災・防犯、中心市街地の活性化、生活道路の整備が20%以上を占めている。＞

より良い都市づくりに重要な方策は、「医療施設の整備」(33%)、「高齢者支援施設の充実」(25%)の医療・高齢者福祉、「川や水辺の保全」(25%)、「山等の緑の保全」(21%)の自然環境の保全や「伝統的な文化の保全、継承」(21%)が上位を占めるほか、防災・防犯、中心市街地の活性化、生活道路の整備が20%以上を占めている。

＜都市づくり上の検討課題＞

- ①都市づくりの目標において、保健・福祉が充実した“安心できる都市づくり”や自然が豊かな“住みやすい都市づくり”を重視する必要性が高い。
また、地域の資源を活かした“観光・交流の都市づくり”も重視する必要がある。
- ②土地利用方針や各種の整備方針においては、医療・高齢者福祉、自然環境の保全、防災・防犯、中心市街地の活性化、公共交通の整備について検討する必要性が高い。

5) 地区別の将来イメージ像とまちづくりの方策

《将来イメージ像は、各町ともに「自然豊かな地区」「保健・福祉が充実した地区」「住宅を中心にした地区」が上位を占めているほか、土山町と信楽町では「観光客が訪れる地区」が上位を占めている。》

地区の将来イメージ像は、5町ともに「自然豊かな地区」「保健・福祉が充実した地区」が40～55%を占め、「住宅を中心にした地区」が水口町、甲南町で51～56%、土山町、甲賀町、信楽町で28～37%を占めている。また、「観光客が訪れる地区」は土山町で30%、信楽町で58%を占めている。

《地区のより良いまちづくり方策は、都市全体と同様に、医療・高齢者福祉、自然環境の保全、防災・防犯、中心市街地の活性化、生活道路の整備が20%以上を占めている。》

地区のより良いまちづくりに重要な方策は、都市全体と同様に、「医療施設の整備」、「高齢者支援施設の充実」の医療・高齢者福祉、「川や水辺の保全」、「山等の緑の保全」の自然環境の保全が20%以上で上位を占めるほか、防災・防犯、中心市街地の活性化、生活道路の整備も20%以上を占めている。

また、水口町、甲南町、信楽町では「生活道路の整備」が20%を超え、甲賀町、信楽町では「伝統的な文化の保全、継承」が20%を超えている。

＜まちづくり上の検討課題＞

- ①各地区のまちづくりの目標においても、保健・福祉が充実した“安心できる都市づくり”や自然が豊かな“住みやすい都市づくり”を重視する必要性が高い。また、地域の資源を活かした“観光・交流の都市づくり”も重視する必要がある。
- ②土地利用方針や各種の整備方針においては、医療・高齢者福祉、自然環境の保全、防災・防犯、中心市街地の活性化、公共交通の整備について検討する必要性が高いとともに、各町の現状に応じて生活道路の整備や伝統的な文化の保全、継承の方策を検討する必要がある。

6) 開発・建築の規制・誘導方策

「開発・建築の規制・誘導方策については、「わからない」が第1位であるが、農地・自然が適正に保全されている意見が第2位、宅地開発が適正に誘導されている意見が第3位である。」

開発・建築の規制・誘導方策については、「わからない」が第1位であるが、「農地や自然環境が保全されている」(23%)が第2位、「宅地開発等が適正に誘導されている」(15%)が第3位である。また、地区別では「住宅地開発の妨げになっている」が甲賀町で24%、「規制区域が小さく、環境が悪くなるおそれがある」が水口町(16%)甲南町(15%)、信楽町(19%)で幾分多い。

「建物用途の規制・誘導方策については、「わからない」が第1位であるが、商業地不足が第2位(18%)で、適正とする意見が第3位(17%)であるほか、各町で意見が多少異なっている。」

建物用途の規制・誘導方策については、「わからない」が第1位であるが、水口町、土山町、甲賀町、甲南町では「商業地が少ない」と「住・商・工が適正に形成されている」がおおむね20%で上位を占めている。また、「住・商・工が混在している」は水口町、甲南町、信楽町で13%程度を占め、「住宅地が少ない」は土山町、甲賀町で15~19%、「工業地が少ない」は土山町で28%を占めている。

<都市づくり上の検討課題>

- ①都市計画を市民に理解していただけるように方法を検討する必要がある。
- ②土地利用方針、市街地の整備方針において、各町の意見を考慮して開発規制と建物用途コントロールについて検討する必要性が高い。

7) 市民のまちづくりの参加方法

「市民のまちづくりの参加方法については、市民参加型で行政が中心となる方法を求める声大きい。」

市民のまちづくりの参加方法については、「市民が参加できる方法を企画し、行政が市民の意見を反映する」が48%、次いで「行政が計画し、市民の賛同を得て実現する」が25%を占め「市民が主体となる制度等を創る」は13%にとどまっている。

<都市づくり上の検討課題>

- ①都市づくり、まちづくりにおいて、市民参加のワークショップや協議会等を積極的に開催する必要がある。

(2) 中学生アンケート調査

1) よく利用する場所（中学生の生活の拠点場所）

「ファッション関係の買物場所は、水口町の3中学校では校区の町内が多く、他の4町の中学校では他の町が多いことから、買物場所は水口町が50%前後を占めていると推測できる。」

ファッション関係の買物場所は、水口町の中学校では校区の町内が36～50%を占め、他の4町の中学校では他の町が48～54%を占めている。このことから、水口町の中心地等を買物場所としている人が多いと推測できる。また、甲賀市外が全体で36%を占めている。

「病院・診療所の場所は、水口町の3中学校では校区の町内が多く、他の4町の中学校では他の町が多いことから、場所は水口町が過半数の比率を占めていると推測できる。」

病院・診療所の場所は、水口町の中学校では校区の町内が41～66%を占め、他の4町の中学校では他の町が40～75%を占めている。このことから、水口町の中心地等を通院の場所としている人が多いと推測できる。

「友人との会合や飲食の場所は、水口町の3中学校では校区の町内が多く、他の4町の中学校では他の町が多いことから、場所は水口町が50%前後を占めていると推測できる。」

友人との会合や飲食の場所は、水口町の中学校では校区の町内が49～56%を占め、他の4町の中学校では他の町が40～59%を占めている。このことから、水口町の中心地等を会合や飲食の場所としている人が多いと推測できる。

<都市づくり上の検討課題>

- ①中学生の生活行動は一般市民に似たパターンであり、都市構造において拠点の形成方針を検討する必要がある。
- ②ファッション関係の買物場所や友人との会合や飲食の場所については、甲賀市外の比率が市民アンケート調査結果より高まっており、甲賀市内の中心地において若者が魅力を感じるような拠点づくりを検討する必要がある。

2) 甲賀市の良いところ、良くないところ

《良いところは、「緑豊かな山々」「災害が少ない」は選択率が50%を超えるなど、自然環境面が上位を占めている。》

良いところは、選択率が30%以上の上位9項目の中で、「緑豊かな山々」(64%)、「災害が少ない」(53%)、「空気がきれい」(48%)、「景色や環境がよい」(45%)の自然環境に関するものが4項目あり、市民アンケート調査結果に類似している。また「買物が便利」(39%)も市民アンケート調査結果と同様に選択率が高い。一方、市民アンケート調査結果と異なる点は「伝統文化が豊か」(36%)、「文化施設が多い」(35%)、「自宅付近の道路は整っている」(32%)がある。

《良くないところは、「川が汚い」と、「鉄道が不便」「バス交通が不便」の交通関係が上位を占めている。》

良くないところは、選択率が30%以上の上位5項目の中で、「川が汚い」(48%)で第1位を占め市民アンケート調査結果と異なっている。一方、「鉄道が不便」(39%)、「バス交通が不便」(30%)の交通施設が続くほか、市民アンケート調査結果では20%台の中位にある項目で「買物が不便」(39%)、「スポーツ施設が少ない」(39%)が上位になっている。

＜都市づくり上の検討課題＞

- ①土地利用方針、自然環境の整備方針等において、自然環境を保全する方針、開発を規制する方針を検討する必要性が高い。
- ②都市施設の整備方針において、鉄道、バス交通の整備方針を検討するとともに若者が魅力を感じるショッピング街やスポーツ施設の整備を図る必要性が高い。

3) 甲賀市の将来都市像と都市づくりの方策

《将来都市像は、「自然が豊かな都市」が61%を占め、次いで「商業が発展した都市」(43%)、「住宅地を中心にした都市」(42%)が続いている。》

将来都市像は、「自然が豊かな都市」(61%)が第1位を占め、次いで「商業が発展した都市」(43%)、「住宅地を中心にした都市」(42%)が続いている。このうち「商業が発展した都市」は市民アンケート調査結果では19%にとどまっている。一方、市民アンケート調査結果では上位を占めている「観光客が訪れる都市」は28%（市民アンケート：36%）、「保健・福祉が整った都市」は24%（市民アンケート：53%）にとどまっている。

《より良い都市づくりに重要な方策は、自然環境の保全の項目が上位を占め、次いで中心市街地の活性化、公共交通の整備が占めている。》

より良い都市づくりに重要な方策は、「川や水辺を守る」(37%)、「山や緑を守る」(36%)、「空気が汚れないようにする」(27%)の自然環境の保全が市民アンケート調査結果と同様に上位を占める。次いで「鉄道本数を増やす」(22%)、「市中心商業地を発展させる」(21%)、「各町中心街を発展させる」(21%)で中心市街地の活性化や公共交通の充実が第2グループを占めている。一方、市民アンケート調査結果で上位を占めている「医療施設の整備」は8%(市民アンケート:33%)、「高齢者支援施設の充実」は7%(市民アンケート:25%)に低下し、防災・防犯関係も15~17%(市民アンケート:23~25%)に低下している。

＜都市づくり上の検討課題＞

- ①都市づくりの目標において、自然が豊かで買物等の利便性が高い“住みやすい都市づくり”を重視する必要性が高い。
- ②土地利用方針や各種の整備方針においては、自然環境の保全、中心市街地の活性化、公共交通の整備について検討する必要性が高い。

4) 地区別の将来イメージ像とまちづくりの方策

《将来イメージ像は、各地区(校区周辺)ともに「自然が豊かな地区」が第1位を占め、次いで「住宅地を中心とした地区」と「商業が発展した地区」が続いている。また、信楽町では「観光客が訪れる地区」が上位を占めている。》

各地区(校区周辺)の将来イメージ像は、7校ともに「自然が豊かな地区」が60~72%の高い比率を占め、次いで「住宅地を中心とした地区」と「商業が発展した地区」が大部分の地区において30~40%台が続いている。一方、「観光客が訪れる地区」は信楽町で36%(市民アンケート:58%)を占めているものの、土山町では26%(市民アンケート:30%)に低下している。

《地区のより良いまちづくり方策は、都市全体と同様に、自然環境の保全、中心市街地の活性化、公共交通の整備が多くの地区で20%以上を占めている。》

地区(校区周辺)のより良いまちづくりに重要な方策は、都市全体と同様に、「川や水辺を守る」、「山や緑を守る」、「空気が汚れないようにする」の自然環境の保全が20%~40%台で上位を占めるほか、「町の中心地を発展させる」がおおむね20%~30%台を占めている。

また、「防犯対策の強化」が県立水口東、水口で 20～22%、「バスの本数、経路を増やす」が県立水口東、土山で 26～29%、「スポーツ施設を整える」が甲賀、甲南で 21～29%を占めている。

<まちづくり上の検討課題>

- ①各地区のまちづくりの目標においても、自然が豊かで買物が便利な“住みやすいまちづくり”を重視する必要性が高い。
また、地域の資源を活かした“観光・交流のまちづくり”も重視する必要がある。
- ②土地利用方針や各種の整備方針においては、自然環境の保全、防災・防犯、中心市街地の活性化、公共交通の整備について検討する必要性が高い。